

**Canon**

# POWER PROJECTOR LV-HD420 / LV-X420

## 使用説明書



**HDMI™**  
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

**MHL**

PICTURE BY  
**DLP®**  
TEXAS INSTRUMENTS

**CRESTRON**  
connected

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。

特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。

またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。

電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

---

# 目次

安全にお使いいただくために.....	3
はじめに.....	13
同梱品（付属物の確認）.....	13
プロジェクターの各部の説明.....	14
前面図.....	14
ファンクションキーとLED.....	15
背面図.....	16
底面図.....	18
リモコンの各部の名称.....	19
リモコンの動作範囲.....	20
プロジェクターとリモコンのボタン.....	20
プロジェクターの設置と操作.....	21
リモコンに電池を挿入する.....	21
プロジェクターを起動する／シャットダウンする.....	22
ソフトキャリングケース（LV-SC02）への収納のしかた.....	23
アクセスパスワードを設定する（セキュリティロック）.....	24
プロジェクターの傾きを調整する.....	26
ズーム/フォーカスとキーストーンを調整する.....	27
音量を調整する.....	28
OSD メニューによる機能設定.....	29
OSD メニューコントロール.....	29
OSD を操作する.....	29
OSD 言語を設定する.....	30
OSD メニューの概要.....	31
イメージメニュー.....	34
アナログ設定メニュー.....	35
詳細機能.....	36
ホワイトバランス.....	37
カラーマネージャ.....	38
設定1メニュー.....	39
音声.....	40
詳細1の機能.....	41
詳細2の機能.....	43
4点キーストーン補正.....	44

---

設定 2 メニュー.....	45
ステータス.....	46
詳細 1 の機能.....	47
詳細 2 の機能.....	59
<b>メンテナンスとセキュリティ.....</b>	<b>61</b>
ランプを交換する.....	61
ランプカウンターをリセットする.....	64
プロジェクターを清掃する.....	65
レンズを清掃する.....	65
プロジェクター本体を清掃する.....	65
Kensington ロックを使用する.....	66
Kensington ロックを使用する.....	66
セキュリティバーを使用する.....	66
<b>故障かなと思ったら.....</b>	<b>67</b>
一般的な問題と解決方法.....	67
LED メッセージ.....	68
問題と対処方法.....	69
画像の問題.....	69
ランプの問題.....	69
リモコンの問題.....	70
音声の問題.....	70
プロジェクターを修理に出す.....	70
<b>仕様.....</b>	<b>71</b>
本体.....	71
投写距離と画面サイズ.....	73
投写距離と画面サイズの一覧.....	73
対応信号一覧.....	75
プロジェクターの寸法.....	77
<b>付録.....</b>	<b>78</b>
RS-232C プロトコル.....	78
<b>保証とアフターサービス.....</b>	<b>84</b>

---

# 安全にお使いいただくために

## 安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 <b>注意</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 高温注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、やけどをする可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 分解禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 接触禁止	
 水ぬれ禁止	
 ぬれ手禁止	
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
 アース線を接続する	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 電源プラグをコンセントから抜け	
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

## 使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

### 警告

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断器を手の届くところに設置してください。

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



- 煙が出ている。
- 変なおいや音がする。
- 水など液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。
- 本書で禁止している使用方法をするなどして、本機を物理的に破損した。

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。



- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また巻いたり、束ねたりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談してください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。



- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに挿し込む前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

## ⚠ 警告

電源および電源プラグ、コネクタの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。



禁止



感電注意

- 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。コードが破損します。
- 電源プラグやコネクタの接点部に金属類を差し込まないでください。



ぬれ手禁止



感電注意

- ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。



注意



感電注意

- 電源プラグやコネクタは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。



注意

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

## 設置および取り扱い上のご注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意

- 水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。



接触禁止



感電注意

- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。



電源プラグをコンセントから抜き



感電注意

- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- 本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止



分解禁止

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。
- 天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。
- 本機のメンテナンスの際に接着剤・潤滑剤・油・アルカリ性洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因となります。
- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談ください。
- 本機（消耗品を含む）やりモコンの分解、改造をしないでください。

## 警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止

- 使用中は排気口をのぞかないでください。
- 吸気口や排気口等の穴に物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発する原因になります。
- 本機のレンズなどに付着したゴミ、ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを絶対使用しないでください。本機内部の一部が高温になっているため、引火による火災の原因になります。
- 本機のメンテナンスの際に接着剤・潤滑剤・油・アルカリ性洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因となります。
- 動作中、レンズキャップを着けたり、レンズの前に物を置かないでください。火災の原因になることがあります。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 本製品の投写光は IEC62471-5:2015 に基づくリスクグループ 2 (RG2) に分類されます。
- 子供が本機に近づいたり触れたりする可能性がある場合は、必ず大人の管理・監督のもとで使用してください。
- 投写光が通る範囲に光学機器（ルーペ、反射鏡、メガネ等）をかざしたり、設置しないでください。投写光が屈折または反射しそれが目に入ると、目を傷める原因になります。
- 本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上に設置しないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。



注意

## 警告

### ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプ交換の指示が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。詳しくは、本書をご覧ください。
- ランプ個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。

ランプの交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。感電やけがまたはやけどの原因になります。



- ランプの交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、45分以上待ってから行ってください。
- ランプが破裂したときは、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。また、本機の内部にガラス片が散乱している可能性があります。ご自身ではランプの交換はせず、設置業者または販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプ交換を依頼してください。
- 万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが点灯しなくなって交換するときは以下の点に注意してください。けがの原因となります。



- 電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、設置業者または販売店に依頼してください。
- 本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するときなどは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換をする際は、本機を床や作業台に下ろしてからランプ交換を行ってください。交換する際、ランプが落下し、けがや故障の原因になることがあります。

### リモコンの電池に関するご注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。



- 電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。



- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- + と - の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ⚠ 注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにホコリがたまり、火災の原因となることがあります。
- 投写中や投写後しばらくは排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になりますので、手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属類を置かないでください。高温になり、やけどやけがの原因になることがあります。
- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となる場合があります。
- 投写中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因になる場合があります。



ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



- ランプ交換の指示が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、45分以上経過し、ランプと本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどの原因になることがあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。
- 使用済み水銀ランプを捨てる時は各自治体の条例に従って廃棄してください。

## 3D 視聴についての安全上のご注意

### 注意

3D 視聴については、以下の点にご注意ください。



禁止



注意

- 光過敏の既往症のある方、心臓に疾患がある方、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、3D 映像の視聴を控えてください。病状悪化の原因となることがあります。
- 体調不良や、疲れた状態での 3D 視聴を控えてください。他に、睡眠不足、酒気を帯びているときも、3D 映像の視聴を控えてください。
- 以下のような症状が出た場合は、すぐに 3D 視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。
  - 3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
  - 3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたとき、使用を中止してください。
- 長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
- お子様の 3D 視聴には保護者が付き添ってください。お子様は、3D 視聴による不快感が生じても、適切に伝えられないことがあるので、保護者が付き添ってご使用ください。3D 映像の視聴年齢については、およそ 6 歳以上を目安にしてください。
- 3D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離でご覧ください。画面正面のなるべく適正な距離（画面縦寸法の約 3 倍以上が目安）から、表示面の水平と両目の水平が近い状態でご覧ください。

## 注意

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



注意

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。
- 使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因になります。
- 本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になることがあります。
- 調整脚をおさめてください。移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがあります。
- レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になることがあります。
- レンズの保護のためにレンズキャップをはめてください。

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。

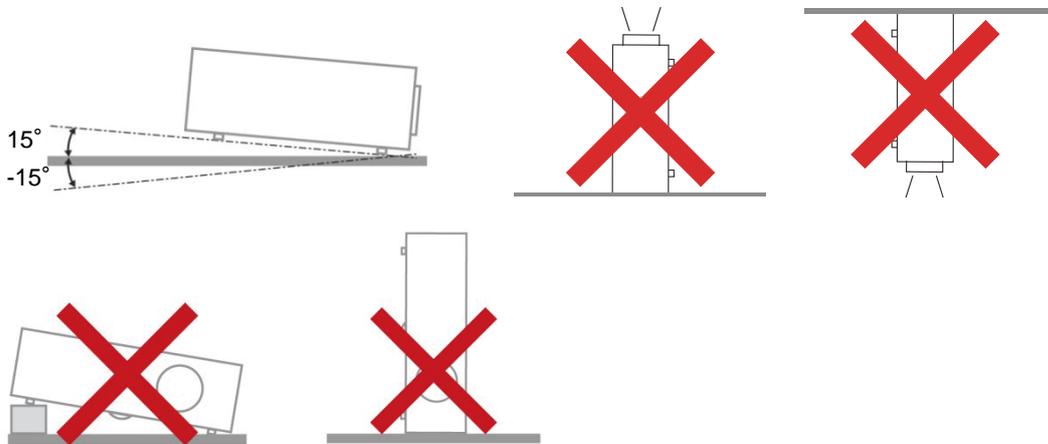


注意

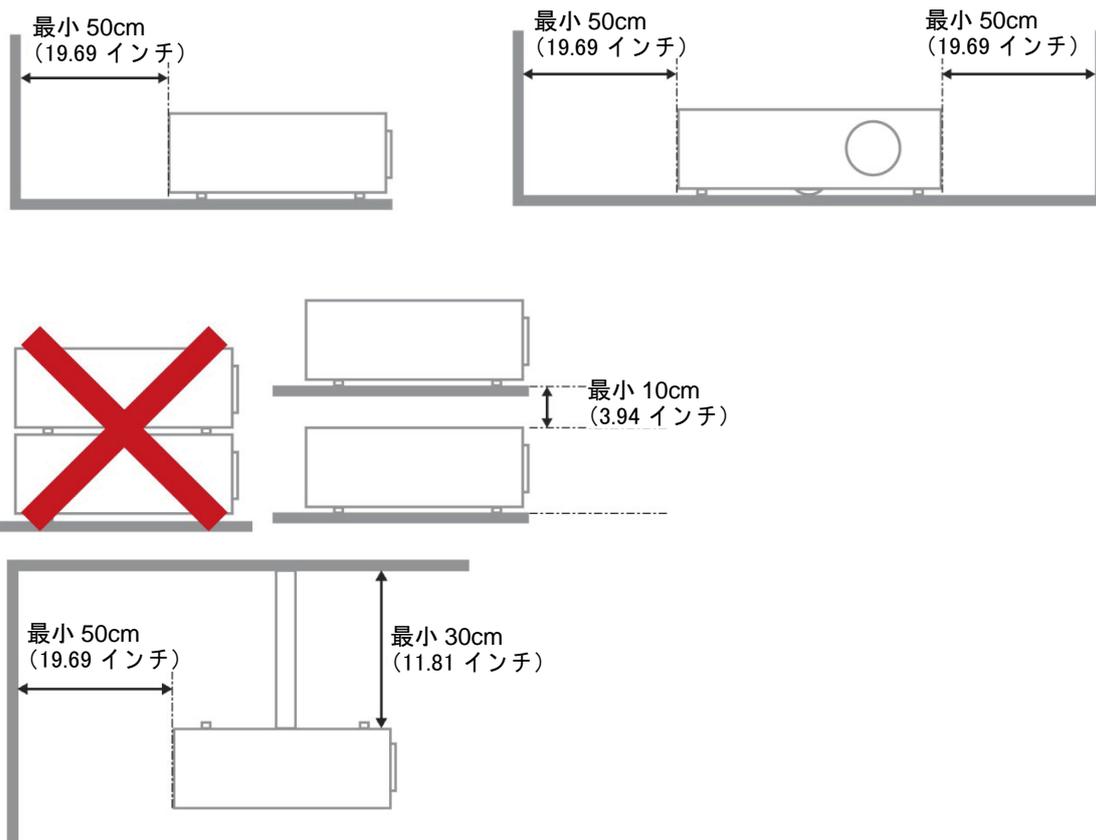
- 結露に注意してください。  
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。
- 冷暖房機の風が直接当たるなど温度変化が激しい場所に設置しないでください。結露や温度の急上昇により故障の原因になることがあります。
- 高温または低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用環境と保管温度の範囲は次の通りです。
- 使用環境温度 5℃～40℃湿度 85% まで
- 保管温度 -10℃～60℃
- 海拔 1,500m 以上の高地でご使用されるお客様へ  
本機のメニュー設定を変更してください (P47)。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり光学部品等の寿命が短くなったり故障の原因になることがあります。
- 本機の吸気口、排気口を壁などから 50cm 以上離して設置してください。内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。
- 熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。
- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天吊り設置の場合に落下するおそれがあります。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。

## 設置のときのご注意

- プロジェクターは水平に置いてください。  
プロジェクターの傾き角度は 15 度を越えないようにしてください。また、プロジェクターは、据え置きまたは、天井取り付け以外の方法で取り付けしないでください。ランプ故障の原因になることがあります。



- 排気口の周辺には最低 50cm の空間を確保します。



- 壁などから十分な距離をあけて設置してください。
- 吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。
- 密閉された風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。図に示すように、上面、側面、背面何れも壁などから離してください。
- 天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。

---

## 著作権についてのご注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機の画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

## ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。  
不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

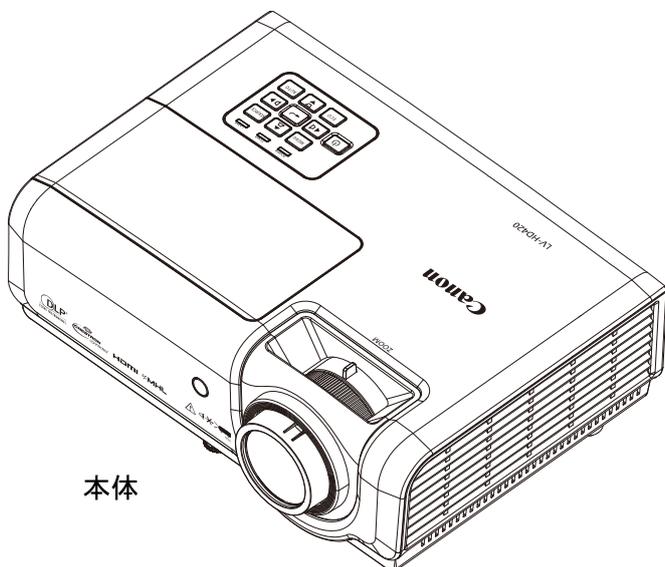
利用に際しては、プロジェクター本体、コンピューター、ネットワークに適切なセキュリティの設定を行ってください。  
プロジェクターはインターネットに直接接続せず、ファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

## 商標について

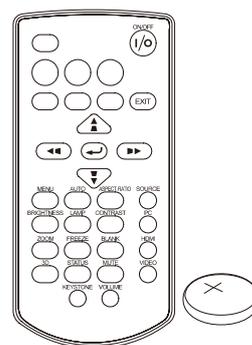
- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac、Mac OS、および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- PJLink は JBMIA の登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。
- Crestron<sup>®</sup>、Crestron RoomView<sup>®</sup>、Crestron Connected<sup>™</sup> は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- MHL、MHL のロゴ、および Mobile High-Definition Link は、米国およびその他の国における MHL, LLC の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

## 同梱品（付属物の確認）

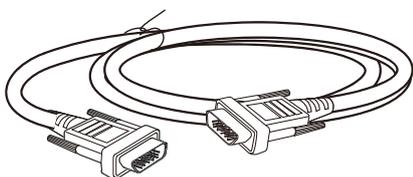
次の同梱品が揃っていることを確認してください。



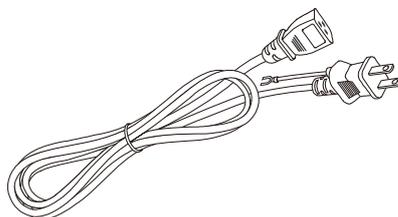
本体



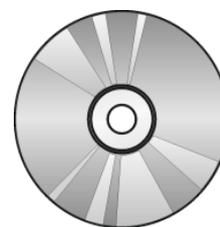
リモコン  
(電池 (CR2025) 1 個付き)



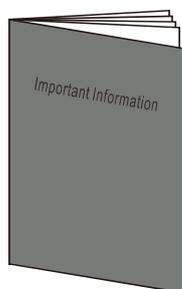
コンピューターケーブル (1.8m)  
(ミニ D-sub15/ ミニ D-sub15 ピン用)  
(P/N: 3081409201)



電源コード (1.8m)



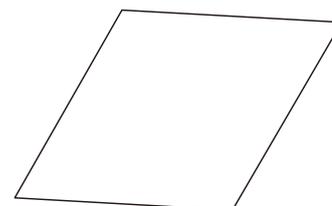
CD-ROM  
(本使用説明書)



Important Information  
重要なお知らせ



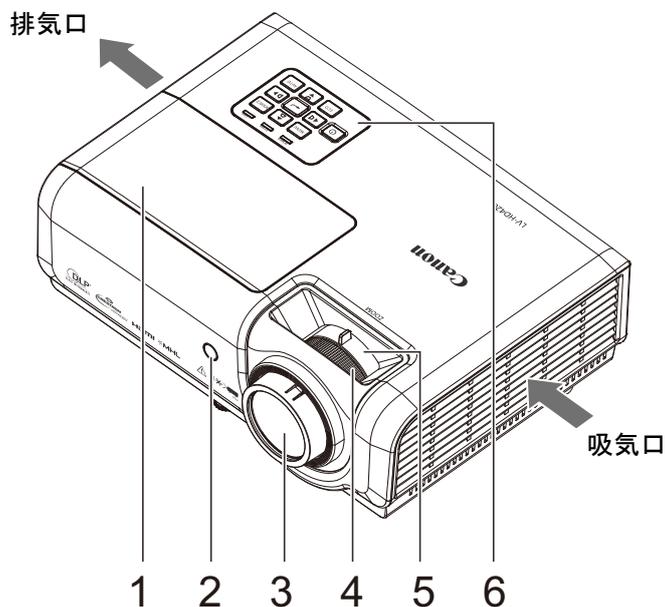
保証書



かんたんガイド

## プロジェクターの各部の説明

### 前面図



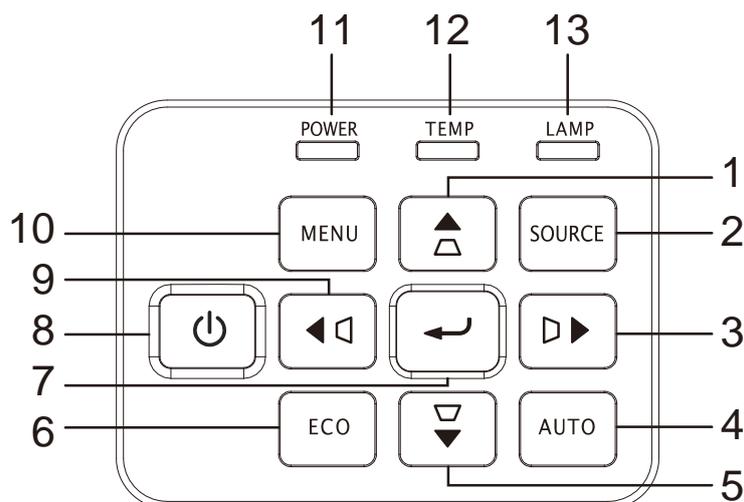
項目	名称	説明	参照ページ
1.	ランプカバー	ランプを交換するときに取り外します。	<a href="#">61</a>
2.	リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。	
3.	投写レンズ		
4.	フォーカスリング	画面のピントを合わせます。	<a href="#">27</a>
5.	ズームリング	画面のサイズを調整します。	
6.	ファンクションキー	「 <a href="#">ファンクションキーとLED</a> 」(15ページ)を参照してください。	<a href="#">15</a>



注意

プロジェクターは壁などから十分な距離をあけて設置してください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。

## ファンクションキーとLED



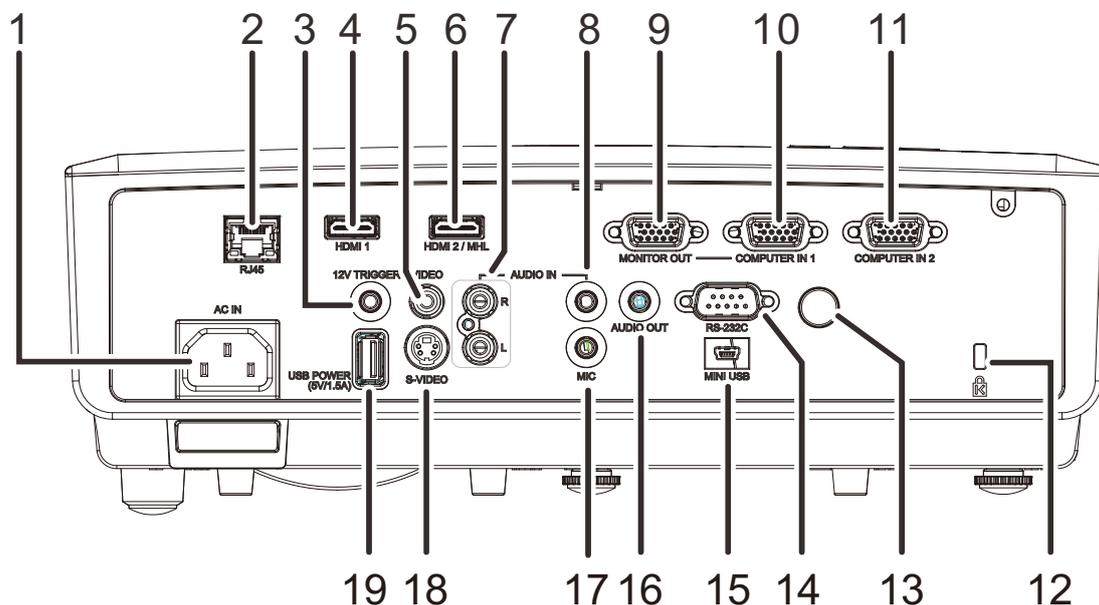
項目	名称	説明	参照ページ	
1.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。	<a href="#">29</a>	
2.	SOURCE	ソース選択メニューを表示します。		
3.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。		
4.	AUTO	コンピュータの映像信号に合わせて表示状態を調整します。		
5.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。		
6.	ECO	ランプモード選択バーを表示します。		
7.		選択した OSD メニュー項目を確定します。		
8.		電源を ON/OFF します	<a href="#">29</a>	
9.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。		
10.	MENU	OSD メニューを開いたり閉じたりします。		
11.	POWER LED	点灯	電源オン、スタンバイ	<a href="#">68</a>
		点滅	システム初期化済、起動中、冷却中、エラーコード	
12.	TEMP LED	点灯	過熱	
13.	LAMP LED	点灯	ランプエラー	
		点滅	エラーコード	

## 背面図



注意

プロジェクターと接続機器の電源を切ってから接続してください。

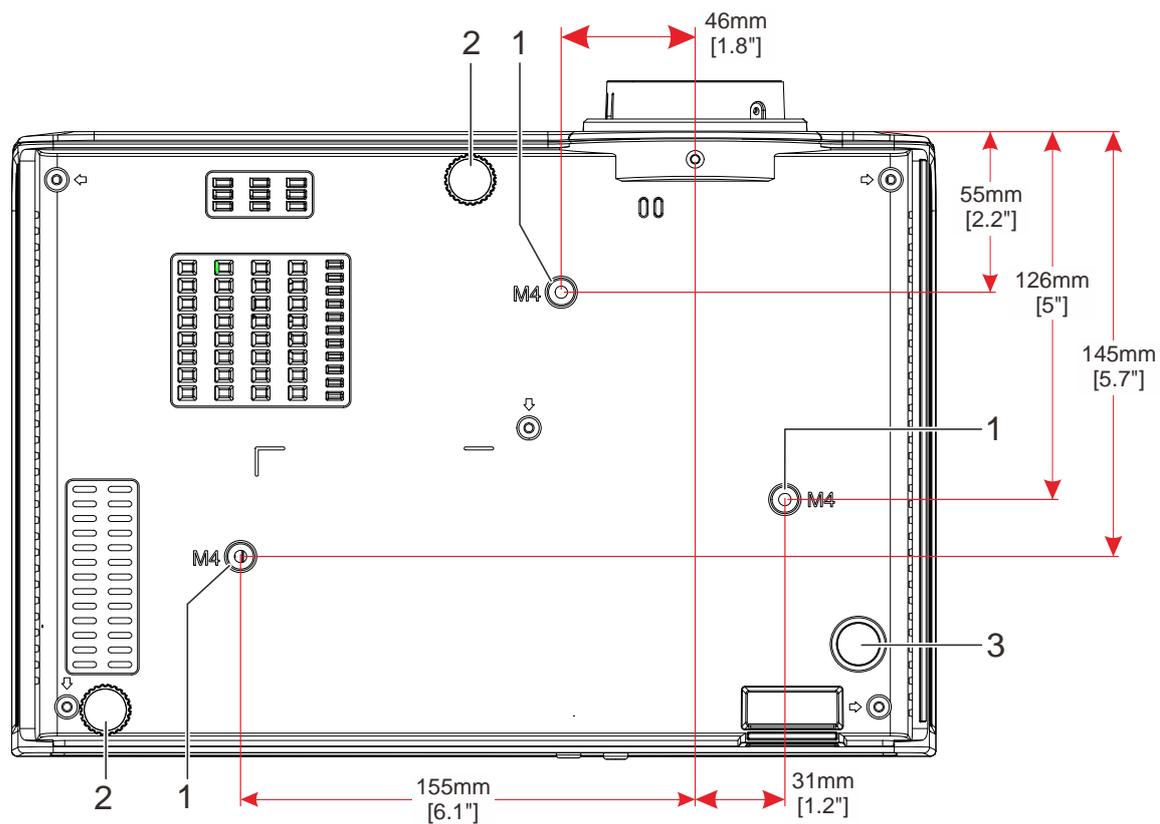


項目	名称	説明	参照ページ
1.	AC IN	電源コードを接続します。	<a href="#">22</a>
2.	RJ45	LAN ケーブルを接続します。	
3.	12V TRIGGER	12V 出力（スクリーンを操作するための信号出力端子です）。	
4.	HDMI 1	HDMI 機器からの HDMI ケーブルを接続します。*	
5.	VIDEO	ビデオ機器からのコンポジットケーブルを接続します。	
6.	HDMI 2/MHL	HDMI 機器からの HDMI ケーブルを接続します。* MHL 互換機器からの MHL ケーブルを接続します。 <b>注記：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準の MHL ケーブルに対応していない機器の場合、専用のアダプターが必要になります。</li> <li>MHL ケーブル（市販）および MHL-HDMI 変換アダプター（市販）は MHL の規格に適合したものを使用してください。規格に適合していないものを使用した場合、映像を投写できない、または接続機器の故障、発熱の原因になることがあります。</li> <li>接続機器の機種や設定によっては正しく表示できないことがあります。</li> <li>映像がうまく投写できない場合は、MHL ケーブルを抜き差ししてください。</li> <li>すべての接続機器での動作を保証するものではありません。</li> </ul>	
7.	AUDIO IN (L/R)	オーディオ機器からのオーディオケーブルを音声入力端子（ステレオ）に接続します。	
8.	AUDIO IN	オーディオ機器からのオーディオケーブルを音声入力端子（モノラル）に接続します。	

\* HDMI 機器と接続する場合は、HDMI 規格に適合したものをご使用ください。

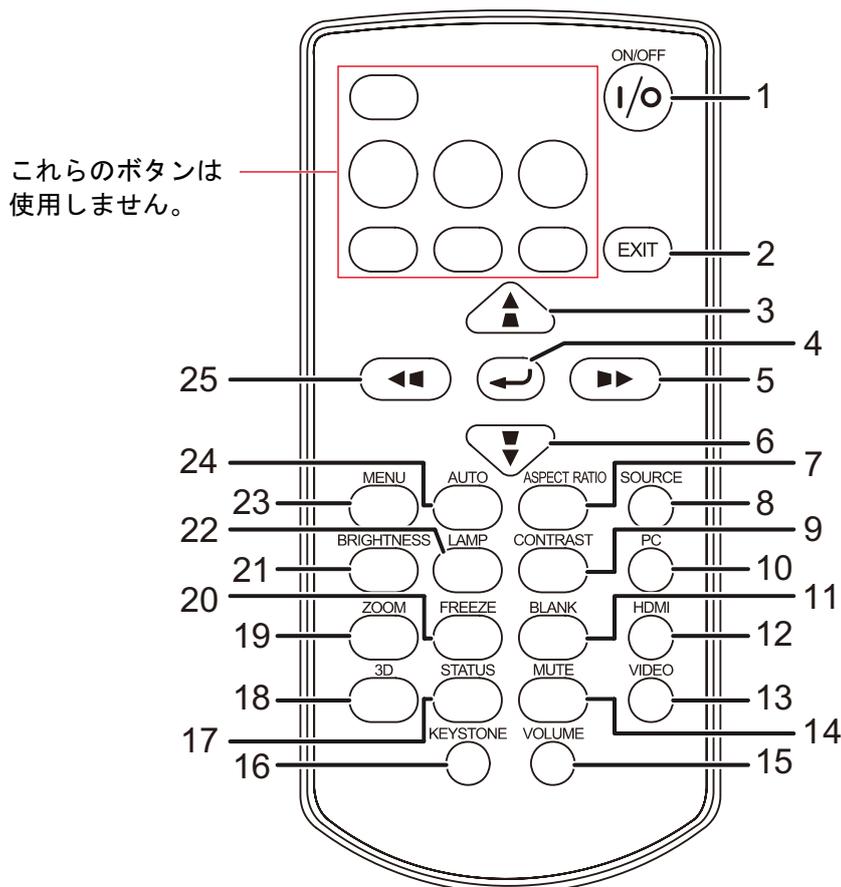
項目	名称	説明	参照ページ
9.	MONITOR OUT	COMPUTER IN 1 への入力信号を外部モニターへ出力する端子です。	
10.	COMPUTER IN 1	コンピューターまたはコンポーネント機器からの信号入力端子です。	
11.	COMPUTER IN 2	コンピューターまたはコンポーネント機器からのコンピューターケーブルを接続します。	
12.	ケンジントンロック	Kensington Lock システムでプロジェクターを固定します。	<a href="#">66</a>
13.	リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。	
14.	RS-232C	コントロール用の RS-232C シリアルポートケーブルを接続します。	
15.	MINI USB	コンピューターからの USB ケーブルを接続します (サービス専用)。	
16.	AUDIO OUT	音声出力端子	
17.	MIC	マイクに接続します。接続中は他の音声は出力しません。	
18.	S-VIDEO	ビデオ機器からの S-VIDEO ケーブルを接続します。	
19.	USB POWER (5V/1.5A)	外部への電源供給用 USB ケーブルを接続します。	

## 底面図



項目	名称	説明	参照ページ
1.	天井取付用穴	プロジェクターを天井に取り付ける方法については、販売店までお問い合わせください。	
2.	調整脚	調整脚を使って、映像の高さと投写角度を変更します	<a href="#">26</a>
3.	固定脚		

## リモコンの各部の名称



- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因となることがあります。

項目	名称	説明	参照ページ
1.	ON/OFF	電源を ON/OFF します。	
2.	EXIT	前の OSD メニューに戻り、メニュー設定を保存後終了します。	
3.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。	29
4.		選択した OSD メニュー項目を確定します。	
5.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。	
6.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。	29
7.	ASPECT RATIO	アスペクトの選択画面を表示します。	
8.	SOURCE	ソース選択メニューを表示します。	29
9.	CONTRAST	コントラスト調整バーを表示します。	
10.	PC	入力信号をコンピューター 1 / コンピューター 2 の間で切り換えます。	

項目	名 称	説 明	参照ページ
11.	BLANK	映像と音声を一時的に消します。	
12.	HDMI	入力信号を HDMI1 / HDMI2 の間で切り換えます。	
13.	VIDEO	入力信号を S ビデオ / コンポジットの間で切り換えます。	
14.	MUTE	音声を一時的に消します。	
15.	VOLUME	音量調整バーを表示します。	<a href="#">28</a>
16.	KEYSTONE	キーストーン調整メニューを表示します。	<a href="#">27</a>
17.	STATUS	OSD ステータスメニューを開きます (メニューが開くのは、入力機器が検出された場合だけです)。	<a href="#">46</a>
18.	3D	3D 機能の OSD を開きます。	
19.	ZOOM	デジタルズーム調整バーを表示します。	
20.	FREEZE	投写映像を一時的に静止させます。	
21.	BRIGHTNESS	輝度調整バーを表示します。	
22.	LAMP	ランプモード選択バーを表示します。	
23.	MENU	OSD メニューを開いたり閉じたりします。	<a href="#">29</a>
24.	AUTO	コンピュータの映像信号に合わせて表示状態を調整します。	
25.		メニューなどで方向を指定します。 キーストーンを調整します。	

## リモコンの動作範囲

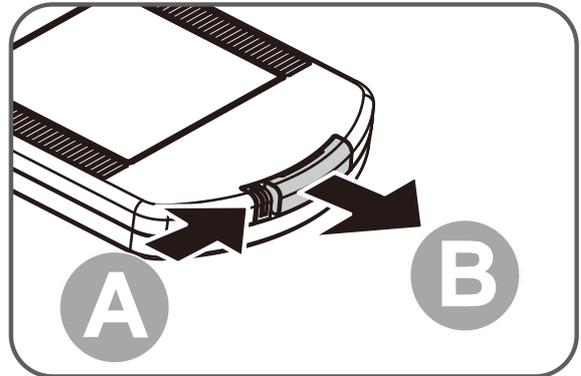
- リモコンは赤外線方式です。本体の前面または後面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンで操作できる範囲は 5m 以内です。
- リモコンは本体の受光部の正面から約 15° 以内の範囲で使用できますが、操作可能距離が短くなる可能性があります。

## プロジェクターとリモコンのボタン

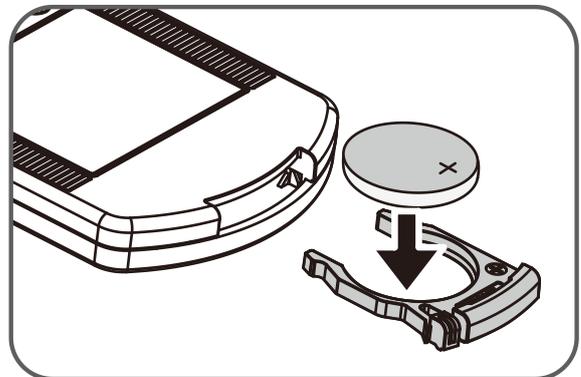
プロジェクターは、リモコン、または、プロジェクターの上部にあるボタンを使って操作します。リモコンではすべての機能の操作は可能ですが、プロジェクター上のボタンでは一部の機能が使用できません。

## リモコンに電池を挿入する

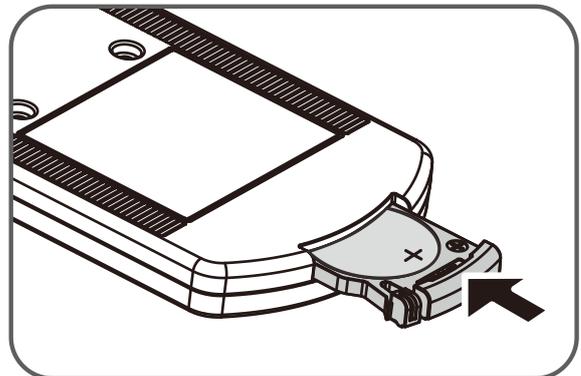
1. 電池収納部のカバーを、矢印 (A) の方向へ移動して取り外します。電池収納部のカバーを、矢印 (B) の方向へ移動して取り外します。



2. +極を上向きにして電池を挿入します。



3. カバーを元に戻します。



**警告**

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。発火、発熱、液漏れ、破裂の原因となります。



禁止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。
- 電池は、必ず指定の電池をご使用ください (CR2025)。

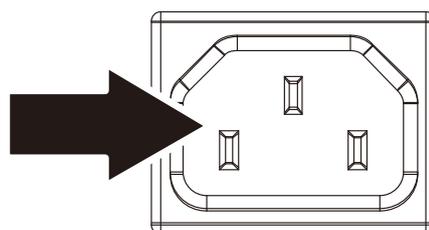


注意

- 電池を使い終わったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 使用済みの電池を捨てるときは各自治体の条例に従って廃棄してください。

## プロジェクターを起動する／シャットダウンする

1. 電源コードをプロジェクターに接続します。電源プラグをコンセントに接続します。プロジェクターの POWER LED が点灯します。



2. 接続した機器をオンにします。

3. POWER LED が点滅していないことを確認します。次に、 (電源ボタン) を押して、プロジェクターをオンにします。

プロジェクタースプラッシュ画面が表示され、接続した機器が検出されます。

セキュリティロックが有効な場合は、「[アクセスパスワードを設定する \(セキュリティロック\)](#)」(24 ページ) を参照してください。



4. 複数の入力機器を接続した場合は、**SOURCE** (ソース) ボタンを押し、機器を切り換えます。(コンポーネントには、COMPUTER-1/2 からコンポーネントアダプターで対応します。)

- COMPUTER1、COMPUTER2 : アナログ RGB
- コンポジットビデオ : コンポジットビデオ入力
- S-Video : S-Video 入力
- HDMI 1 : HDMI
- HDMI2/MHL : HDMI、MHL



5.  (電源ボタン) を押しメッセージが表示されたら、 (電源ボタン) を押します。プロジェクターがオフになります。



注意

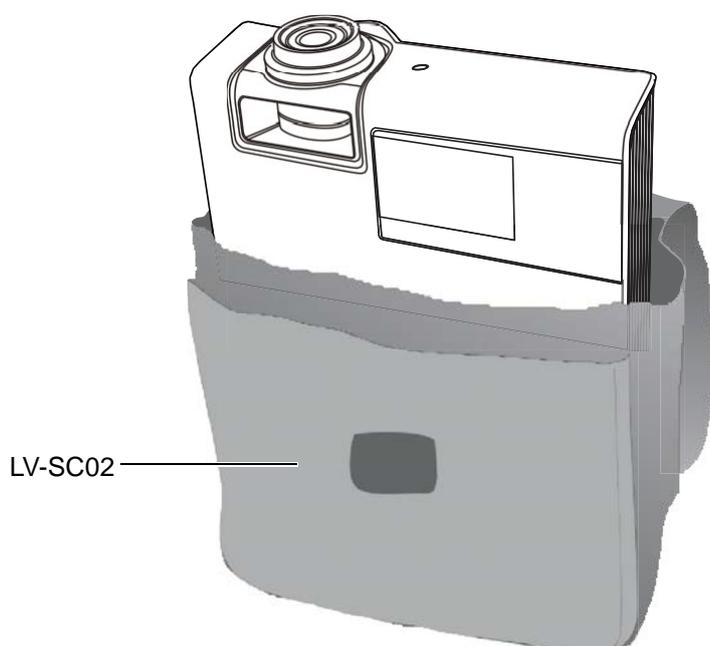
プロジェクターの冷却が完了して、POWER LED が点滅しなくなるまで、電源コードのプラグを抜かないでください。

## ソフトキャリングケース（LV-SC02）への収納のしかた

ソフトキャリングケースは同梱されていません。ソフトキャリングケースをご購入の際は、販売代理店またはキヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。

### 注記：

- ・ソフトキャリングケースに収納する場合はレンズを保護するため、必ず下図のようにレンズを上にしてください。
- ・レンズを保護するため、レンズキャップをはめてください。  
レンズキャップをはめる場合はズームリングを動かし、レンズが本体に格納された状態にしてください。
- ・破損の恐れがありますので、ソフトキャリングケースに収納する場合は調整脚をおさめてください。



## アクセスパスワードを設定する（セキュリティロック）

4つの▲▼◀▶（矢印）ボタンを使ってパスワードを設定し、許可されていない人がプロジェクターを使用することを防止できます。有効にすると、プロジェクターの電源を入れた後で、パスワードの入力を要求されます。（OSDメニューの使い方については、「OSD を操作する」（29 ページ）および「OSD 言語を設定する」（30 ページ）を参照してください。）



注意

パスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れると、プロジェクターを使用することができなくなります。パスワードを忘れた、解除する場合はキヤノンお客様相談センターまでお問い合わせください。

1. MENU（メニュー）ボタンを押して OSD メニューを開きます。



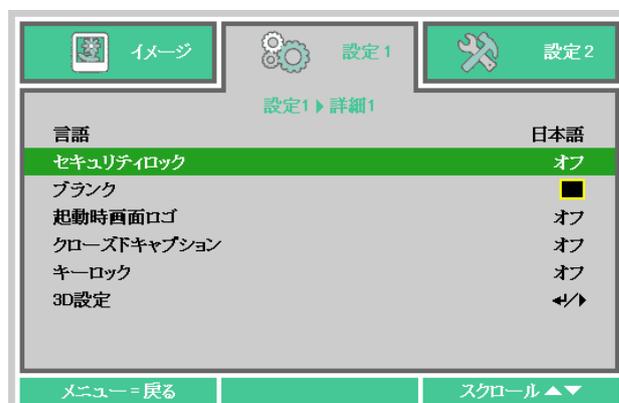
2. カーソル◀▶ボタンを押して、設定1メニューに移動します。カーソル▲▼ボタンを押して、詳細1を選択します。



3. ◀ (エンター) / ▶ を押して、詳細1サブメニューを開きます。カーソル▲▼ボタンを押して、セキュリティロックを選択します。

4. カーソル◀▶ボタンを押して、セキュリティロック機能を有効にしたり無効にします。

パスワードダイアログボックスが自動的に表示されます。



5. キーパッドまたはリモコンのカーソルボタン▲▼◀▶を使って、パスワードを入力します。5文字のパスワードを入力します。どんな組み合わせでも使うことができます（例えば、同じ矢印を5回使うなど）。

パスワード

パスワードの登録 ■ □ □ □ □

パスワードの確認 □ □ □ □ □

メニュー=終了

カーソルボタンを押してパスワードを設定します。**MENU**（メニュー）ボタンを押してダイアログボックスを終了します。

パスワード

パスワードの登録 \* \* \* \* \*

パスワードの確認 \* \* \* \* \*

OK

メニュー=終了

6. セキュリティロックが有効な場合は、ユーザーが⏻（電源ボタン）を押すと、パスワードの確認メニューが表示されます。ステップ5で設定したパスワードを入力します。

パスワード

■ □ □ □ □

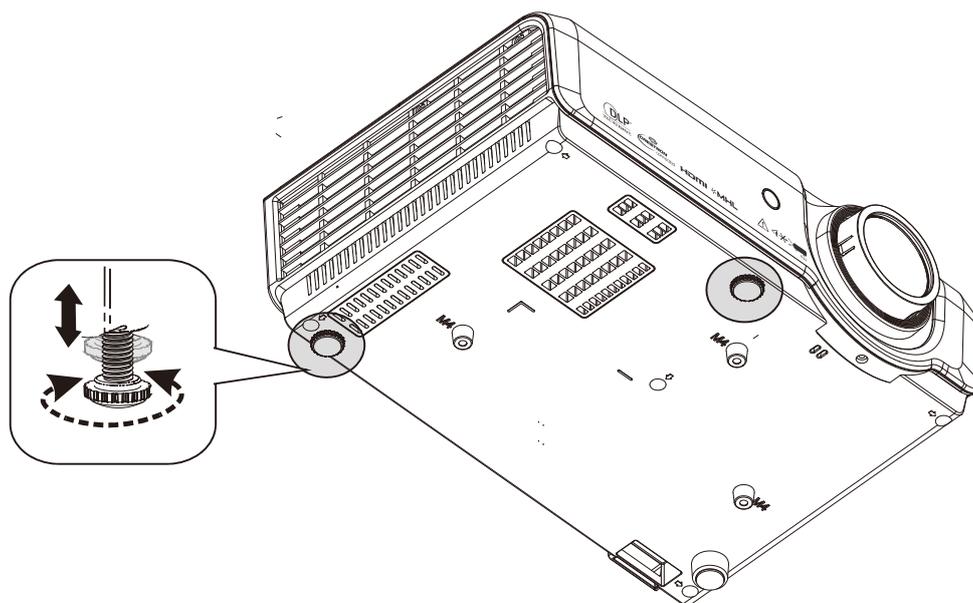
メニュー=キャンセル

パスワードを忘れた場合は、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。

## プロジェクターの傾きを調整する

プロジェクターを設置する際には、次の点にご注意ください。

- プロジェクターを置くテーブルまたはスタンドが安定していることを確認します。
- プロジェクターは、スクリーンに対して垂直になるように置きます。
- 本製品には投写角度や左右の傾きを調整するために調整脚がついています。  
画像の角度を調整するには、調整脚を左または右に回して、希望する角度にします。  
出荷時には調整脚は格納されておりますので、必ずご使用前に画像が水平になるように調整してからご使用ください。  
移動時には調整脚をおさめてください。



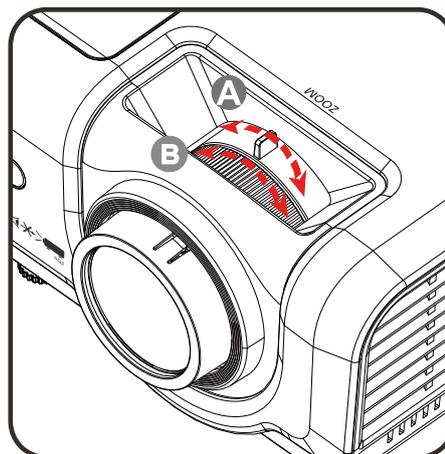
## ズーム/フォーカスを調整する

### 1. ズーム

ズームリングを使って画面のサイズを調整します (A)。

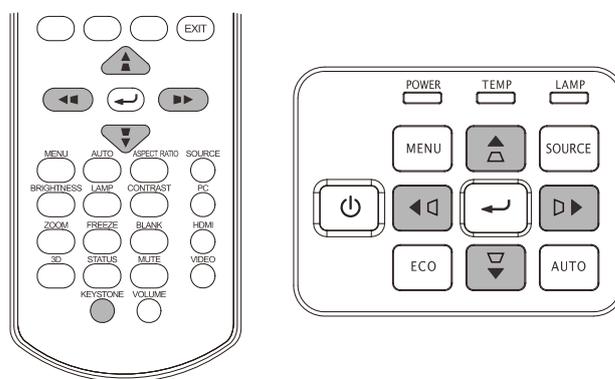
#### フォーカス

フォーカスリングを使って画面のピントを合わせます (B)。



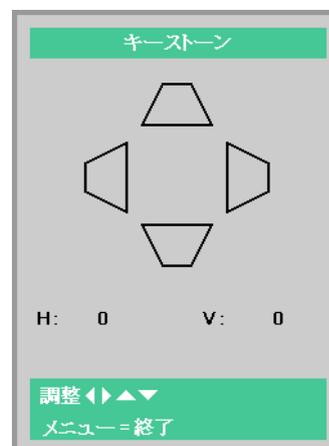
### 2. KEYSTONE (キーストーン) ボタンを使って、イメージの台形歪み (上辺または下辺が長い、同様に左辺または右辺が長い) を補正します。

キーストーン調整メニューがディスプレイに表示されます。



▲/▼ボタンで縦キーストーンの調整をします。

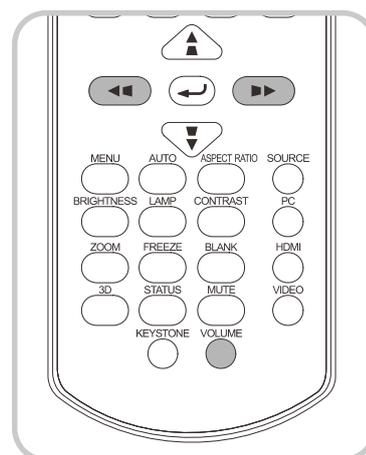
◀/▶ボタンで横キーストーンの調整をします。



## 音量を調整する

1. リモコンの **Volume** (ボリューム) ボタンを押します。

音量コントロールがディスプレイに表示されます。



 /  ボタンでボリュームの調整をします。



2. **MUTE** (ミュート) ボタンを押して、音量をオフにします (この機能は、リモコンでのみ利用可能です)。



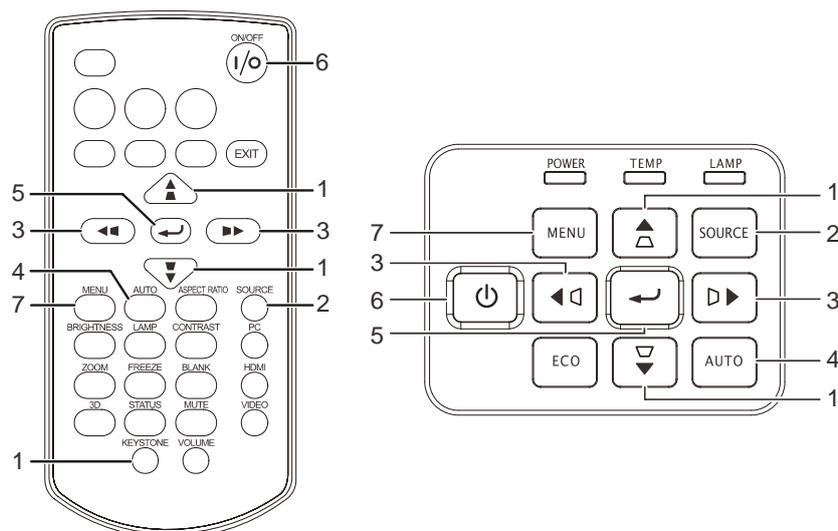
# OSD メニューによる機能設定

## OSD メニューコントロール

プロジェクターの OSD を使って、画像を調整したり、さまざまな設定を変更できます。

### OSD を操作する

リモコンのカーソルボタンまたはプロジェクターのキーパッドを使って、OSD を操作し、変更することができます。



1. OSD を開くには、**MENU (メニュー)** ボタンを押します。
2. 3つのメニューがあります。  
カーソル ◀▶ ボタンを押してメニュー内を移動します。
3. カーソル ▲▼ ボタンを押してメニュー内を上下に移動します。
4. ◀▶ を押して設定用の値を変更します。
5. **MENU (メニュー)** を押して、OSD を閉じたり、サブメニューを終了します。



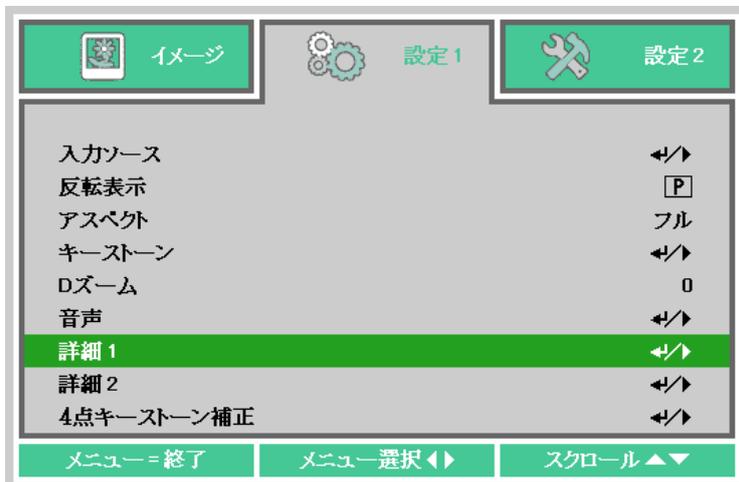
#### 注記:

ビデオソースによっては、OSD 内のすべての項目を使用できないことがあります。例えば、**アナログ設定メニューの水平位置/垂直位置**項目を変更できるのは、PC に接続されている場合だけです。使用できない項目は灰色で表示され、アクセスできません。

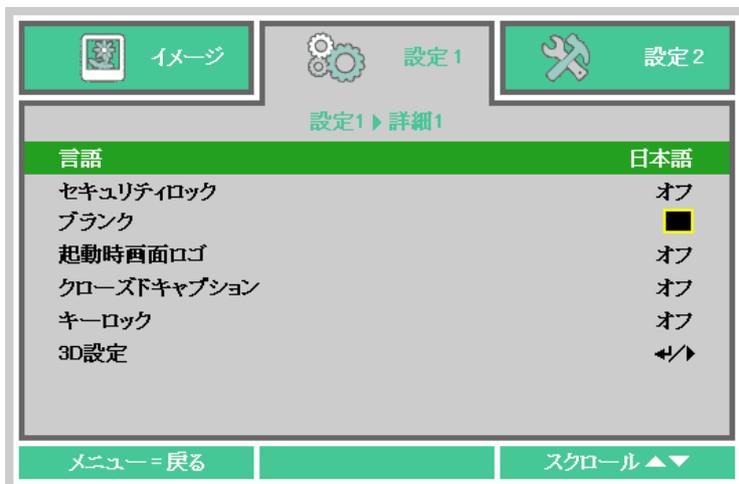
## OSD 言語を設定する

次に進む前に、OSD で使用する言語を設定します。

1. MENU (メニュー) ボタンを押します。カーソル ◀▶ ボタンを押して、設定 1 に移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、詳細 1 メニューに移動します。



2. ◀ (エンター) / ▶ を押して、詳細 1 サブメニューを開きます。言語が強調表示されるまで、カーソル ▲▼ ボタンを押します。



3. 希望する言語が強調表示されるまで、カーソル ▲▼ ◀▶ ボタンを押します。
4. MENU (メニュー) ボタンを 4 回押して OSD を閉じます。

## OSD メニューの概要

次の図を参照して、設定を見つれたり、設定用の範囲を確認します。

メインメニュー		サブメニュー		設定		
イメージ	ピクチャーモード			スタンダード <sup>*1</sup> 、プレゼンテーション、シネマ <sup>*2</sup> 、sRGB、ユーザ		
	明るさ			0~100		
	コントラスト			0~100		
	アナログ設定	水平位置			-5~ <b>0</b> ~5 (オートロックに依存)	
		垂直位置			-5~ <b>0</b> ~5 (オートロックに依存)	
		周波数			<b>0</b> ~31	
		トラッキング			-5~ <b>0</b> ~5	
	自動イメージ調整					
	詳細	ブリリアントカラー			0~10	
		シャープネス			0~31	
		ガンマ			1.8、2.0、2.2、2.4、リニア	
		色温度			6500K、7500K、8300K	
		ビデオ AGC			オフ、 <b>オン</b>	
		色彩度			<b>0</b> ~100	
		色相			<b>0</b> ~100	
		ホワイトバランス	R ゲイン			0~ <b>100</b> ~200
			G ゲイン			0~ <b>100</b> ~200
			B ゲイン			0~ <b>100</b> ~200
	R オフセット				-256~ <b>0</b> ~255	
	G オフセット				-256~ <b>0</b> ~255	
	カラーマネージャ	赤	色調、色彩度、ゲイン		0~100	
		緑	色調、色彩度、ゲイン		0~100	
		青	色調、色彩度、ゲイン		0~100	
シアン		色調、色彩度、ゲイン		0~100		
マゼンタ		色調、色彩度、ゲイン		0~100		
イエロー		色調、色彩度、ゲイン		0~100		
白		赤、緑、青		0~100		

工場出荷時設定は**太字**です。

\*1：コンピュータ信号入力時

\*2：その他信号入力時

メインメニュー		サブメニュー		設定		
設定 1	入力ソース	入力ソース		コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンポジット、S ビデオ、HDMI 1、HDMI 2 / MHL		
	反転表示			前面、リア、天吊り、リア天吊り		
	アスペクト			フル、4 : 3、16 : 9、レターボックス、リアル、2.35 : 1		
	キーストーン			水平方向 : -30~ <b>0</b> ~30 垂直方向 : -30~ <b>0</b> ~30		
	D ズーム			-10~ <b>0</b> ~10		
	音声	音量			0~ <b>5</b> ~10	
		ミュート			オフ、オン	
		マイク入力			オフ、オン	
	詳細 1	言語			English、Français、Deutsch、Español、簡体中文、繁體中文、Italiano、Svenska、Nederlands、Русский、Polski、한국어、Čeština、Türkçe、Việt、日本語、ไทย	
		セキュリティロック			オフ、オン	
		ブランク			ブランク、赤、緑、青、白	
		起動時画面ロゴ			オフ、オン	
		クローズドキャプション			オフ、オン	
		キーロック			オフ、オン	
		3D 設定	3D			オフ、DLP-Link
			3D 同期反転			オフ、オン
			3D フォーマット			フレームシーケンシャル、トップ / ボトム、サイドバイサイド、フレームパッキング
		詳細 2	テストパターン			なし、グリッド、白、赤、緑、青、黒
	横イメージシフト				-50~ <b>0</b> ~50	
	縦イメージシフト				-50~ <b>0</b> ~50	
	4 点キーストーン補正	左上			H : <b>0</b> ~60、V : <b>0</b> ~60	
		右上			H : <b>0</b> ~60、V : <b>0</b> ~60	
		左下			H : <b>0</b> ~60、V : <b>0</b> ~60	
		右下			H : <b>0</b> ~60、V : <b>0</b> ~60	

工場出荷時設定は**太字**です。

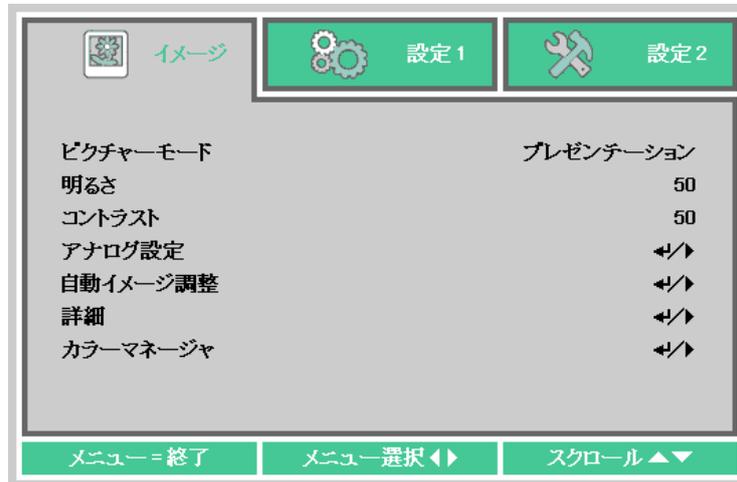
メインメニュー		サブメニュー		設定	
設定 2	オートサーチ			オフ、 <b>オン</b>	
	オートパワーオフ			<b>0</b> (オフ),1~180	
	ダイレクトパワーオン			オフ、 <b>オン</b>	
	ランプモード			エコ、 <b>ノーマル</b> 、スマートエコ	
	出荷時リセット				
	ステータス	入力ソース			
		ビデオ情報			
		ランプ使用時間 (Normal, Eco, SmartEco)			
		ソフトウェアバージョン			
	詳細 1	メニュー位置			左、右、 <b>中央</b> 、下、上
メニュー透過度			<b>0%</b> , 25%, 50%, 75%, 100%		
スタンバイ設定			フル、 <b>RS-232</b> 、ネットワーク		
ファンスピード			<b>ノーマル</b> 、高速		
ランプカウンターリセット					
プロジェクター ID			<b>0-98</b>		
ネットワーク		DHCP			オフ、 <b>オン</b>
		IP アドレス			0~ <b>10</b> ~255, 0~ <b>10</b> ~255, 0~ <b>10</b> ~255. 0~ <b>10</b> ~255
		サブネットマスク			0~ <b>255</b> , 0~ <b>255</b> , 0~ <b>255</b> . 0~ <b>255</b>
		ゲートウェイ			<b>0</b> ~255, <b>0</b> ~255, <b>0</b> ~255. <b>0</b> ~255
		DNS			<b>0</b> ~255, <b>0</b> ~255, <b>0</b> ~255. <b>0</b> ~255
		適用			
詳細 2		スリープタイマー (分)			<b>0</b> (オフ),1~600
	入力ソース設定	コンピュータ 1		無効、 <b>有効</b>	
		コンピュータ 2		無効、 <b>有効</b>	
		コンポジット		無効、 <b>有効</b>	
		S ビデオ		無効、 <b>有効</b>	
		HDMI 1		無効、 <b>有効</b>	
		HDMI 2/MHL		無効、 <b>有効</b>	
	スクリーン色補正			オフ、薄黄色、 <b>ピンク</b> 、薄緑、青、黒板	
カラースペース			オート、RGB、YUV		
入力レベル			オート、フル、Limited		

工場出荷時設定は**太字**です。

## イメージメニュー

 イメージメニューを変更すると、すべての表示モードパラメータは、ユーザモードに保存されます。

**MENU** (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。カーソル ◀▶ ボタンを押して、イメージメニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、イメージメニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して、設定値を変更します。



項目	説明
ピクチャーモード	<p>カーソル ◀▶ ボタンを押して、ピクチャーモードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [スタンダード] モード：コンピュータスクリーンやカラフルな映像（動画）などの投写に適しています。</li> <li>• [プレゼンテーション] モード：文字の多い映像の投写に適しています。[プレゼンテーション] は明るさ優先のため、色味を重視したい場合は [スタンダード] モード、[シネマ] モード、[sRGB] モードの使用をおすすめします。</li> <li>• [シネマ] モード：動画の投写に適しています。</li> <li>• [sRGB] モード：sRGB に対応しているデジタルカメラの写真の投写に適しています。</li> </ul>
明るさ	カーソル ◀▶ ボタンを押してディスプレイの輝度を調整します。
コントラスト	カーソル ◀▶ ボタンを押してディスプレイのコントラストを調整します。
アナログ設定	<p>↵ (エンター) /▶ を押して、<b>アナログ設定</b>メニューを開きます。 「<a href="#">アナログ設定メニュー</a>」(35 ページ) を参照してください。</p>
自動イメージ調整	<p>↵ (エンター) /▶ を押して、位相、トラッキング、サイズおよび位置を自動調整します。</p>
詳細	<p>↵ (エンター) /▶ を押して、<b>詳細</b>メニューを開きます。 「<a href="#">詳細機能</a>」(36 ページ) を参照してください。</p>
カラーマネージャ	<p>↵ (エンター) /▶ を押して、<b>カラーマネージャ</b>メニューを開きます。 「<a href="#">カラーマネージャ</a>」(38 ページ) を参照してください。</p>

## アナログ設定メニュー

MENU（メニュー）ボタンを押して、OSDメニューを開きます。◀▶を押してイメージメニューへ移動します。▲▼を押して、アナログ設定メニューに移動し、次に、↵（エンター）または▶を押します。▲▼を押して、アナログ設定メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
水平位置	カーソル ◀▶ ボタンを押して、表示位置を左または右に調整します。
垂直位置	カーソル ◀▶ ボタンを押して、表示位置を上または下に調整します。
周波数	カーソル ◀▶ ボタンを押して、水平期間の総ドット数を調整します。画面に縞模様が現れるときなどに調整します。
トラッキング	カーソル ◀▶ ボタンを押して、映像信号から画面を構成するタイミングを微調整します。画面がくずれたり、ちらつくときに調整します。

## 詳細機能

MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶ を押してイメージメニューへ移動します。▲▼ を押して、詳細メニューへ移動し、次に、↵ (エンター) または ▶ を押します。▼▲ を押して、詳細メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
ブリリアントカラー	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ブリリアントカラーの値を調整します。
シャープネス	カーソル ◀▶ ボタンを押して映像の鮮明度を調整します。
ガンマ	カーソル ◀▶ ボタンを押して、映像のガンマを調整します。
色温度	カーソル ◀▶ ボタンを押して、色温度を調整します。
ビデオ AGC	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ビデオソース用の自動ゲインコントロールを有効にしたり無効にします。
色彩度	カーソル ◀▶ ボタンを押して、色彩度を調整します。
色相	カーソル ◀▶ ボタンを押して、色相 / 色調を調整します。
ホワイトバランス	↵ (エンター) / ▶ ボタンを押して、ホワイトバランスメニューを開きます。 「 <a href="#">ホワイトバランス</a> 」(37 ページ) を参照してください。

## ホワイトバランス

←(エンター) を押してホワイトバランスサブメニューを開きます。



項目	説明
Rゲイン	カーソル ◀▶ ボタンを押して、赤ゲインを調整します。
Gゲイン	カーソル ◀▶ ボタンを押して、緑ゲインを調整します。
Bゲイン	カーソル ◀▶ ボタンを押して、青ゲインを調整します。
Rオフセット	カーソル ◀▶ ボタンを押して、赤オフセットを調整します。
Gオフセット	カーソル ◀▶ ボタンを押して、緑オフセットを調整します。
Bオフセット	カーソル ◀▶ ボタンを押して、青オフセットを調整します。

## カラーマネージャ

MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶ を押してイメージメニューへ移動します。▼▲ を押して、カラーマネージャメニューに移動し、次に、↵ (エンター) または ▶ を押します。▼▲ を押して、カラーマネージャメニュー内を上下に移動します。



項目	説明
赤	赤のカラーマネージャを開きます。 ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
緑	緑のカラーマネージャを開きます。 ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
青	青のカラーマネージャを開きます。 ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
シアン	シアンのカラーマネージャを開きます。 ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
マゼンタ	マゼンタのカラーマネージャを開きます。 ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
イエロー	イエローのカラーマネージャを開きます。 ◀▶ ボタンを押して、色調、色彩度、ゲインを調整します。
白	白のカラーマネージャを開きます。 ◀▶ ボタンを押して、赤、緑、青を調整します。

## 設定 1 メニュー

MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。カーソル ◀▶ ボタンを押して設定 1 メニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、設定 1 メニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して、設定値を変更します。



項目	説明
入力ソース	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ソースメニューを開きます。入力ソース選択 (IR/キーパッド) を参照してください。
反転表示	カーソル ◀▶ ボタンを押して、4つの投映方法を選択します。
アスペクト	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ビデオの縦横比を調整します。
キーストーン	カーソル ◀▶ ボタンを押してディスプレイのキーストーンを調整します。
Dズーム	カーソル ◀▶ ボタンを押して、Dズームを調整します。
音声	↵ (エンター) /▶ を押して、音声メニューを開きます。 「 <a href="#">音声</a> 」(40 ページ) を参照してください。
詳細 1	↵ (エンター) /▶ を押して、詳細 1 メニューを開きます。 「 <a href="#">詳細 1 の機能</a> 」(41 ページ) を参照してください。
詳細 2	↵ (エンター) /▶ を押して、詳細 2 メニューを開きます。 「 <a href="#">詳細 2 の機能</a> 」(43 ページ) を参照してください。
4点キーストーン補正	↵ (エンター) /▶ を押して、4点キーストーン補正サブ画面を開きます。 「 <a href="#">4点キーストーン補正</a> 」(44 ページ) を参照してください。

## 音声

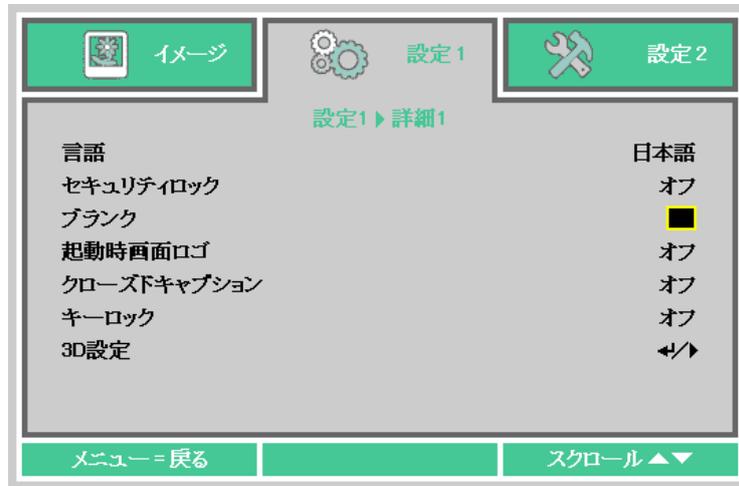
MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶ を押して、設定 1 メニューに移動します。▼▲ を押して、音声メニューに移動し、次に、↵ (エンター) または ▶ を押します。▼▲ を押して、音声メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
音量	◀▶ ボタンを押して、オーディオ音量を調整します。
ミュート	◀▶ ボタンを押して、スピーカーをオンにしたりオフにします。
マイク入力	◀▶ ボタンを押して、マイクをオフにしたりオンにします。 注記：マイクが接続されているとき、OSD マイク項目がオンに切り換わる場合があります。

## 詳細1の機能

MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶ を押して、設定1メニューに移動します。▲▼ を押して、詳細1メニューに移動し、次に、↵ (エンター) または ▶ を押します。▲▼ を押して、詳細1メニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して、設定値を変更します。



項目	説明
言語	言語 カーソル ◀▶ ボタンを押して、さまざまな言語メニューから選択します。
セキュリティロック	カーソル ◀▶ ボタンを押して、セキュリティロック機能を有効にしたり無効にします。
ブランク	カーソル ◀▶ ボタンを押して、画面を空白にする際に使う色を選択します。
起動時画面ロゴ	カーソル ◀▶ ボタンを押して、スプラッシュロゴを選択します。
クローズドキャプション	カーソル ◀▶ ボタンを押して、クローズドキャプションングを有効にしたり無効にします。
キーロック	カーソル ◀▶ ボタンを押して、キーパッドで機能するキーを有効または無効に切り換えます。
3D 設定	↵ (エンター) / ▶ を押して、3D メニューを開きます。 「3D 設定」(42 ページ) を参照してください。

### 注記:

3D 機能を利用するには、再生機器側で 3D 映像の再生を有効に設定してください。

## 3D 設定



項目	説明
3D	カーソル ◀▶ ボタンを押して、3D モードを選択します。
3D 同期反転	カーソル ◀▶ ボタンを押して、3D 同期反転を有効または無効にします。
3D フォーマット	カーソル ◀▶ ボタンを押して、3D フォーマットを切り換えます。

### 注記：

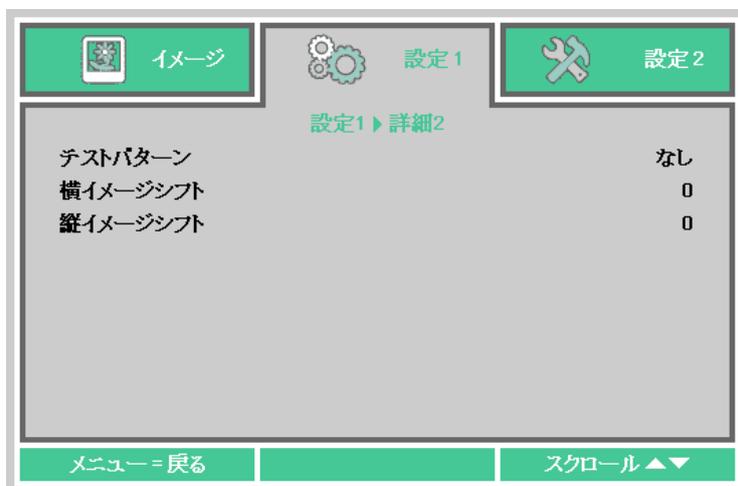
1. 入力信号が3D 画像でない場合、OSD の3D メニュー項目はグレーアウトします。3D の初期設定は「オフ」です。
2. 入力信号が表示可能な3D 画像の場合には、OSD の3D メニューの項目が操作可能になります。
3. 3D 画像を見るときは、DLP Link 方式の3D メガネを使用してください。
4. 3D DVD または3D メディアファイルの3D コンテンツが必要です。
5. 3D DVD コンテンツには、3D オンオフを選択できるものもあります。その場合には3D 機能を「オン」にしてください。
6. 3D メガネの電源をオンにして、3D メガネのマニュアルに記載されている設定指示に従ってセットアップを行ってください。

### 注記：

本製品には3D メガネは付属していません。  
3D メガネ（DLP Link 方式）にはさまざまなタイプがあります。それぞれの設定ガイドに従って設定してください。

## 詳細2の機能

MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶ を押して、設定1メニューに移動します。▲▼ を押して、詳細2メニューに移動し、次に、↵ (エンター) または ▶ を押します。▲▼ を押して、詳細2メニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して、設定値を変更します。

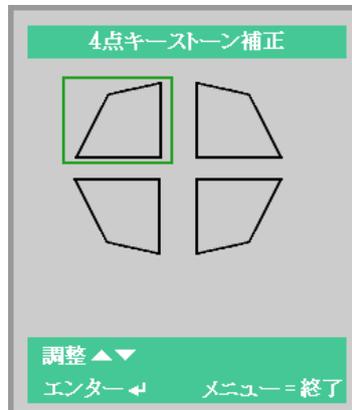


項目	説明
テストパターン	カーソル ◀▶ ボタンを押して、テストパターンを選択します。
横イメージシフト	カーソル ◀▶ ボタンを押して、横イメージシフトを選択します。
縦イメージシフト	カーソル ◀▶ ボタンを押して、縦イメージシフトを選択します。

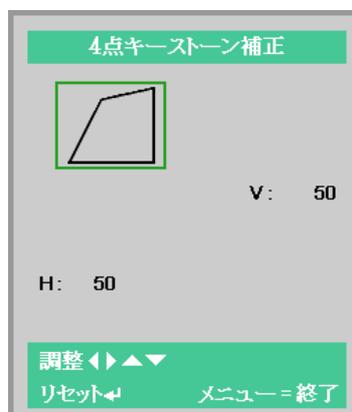
## 4点キーストーン補正

←(エンター) または ▶ を押し、4点キーストーン補正サブ画面を開きます。

1. カーソル▲▼ボタンを押して調整したい点を選び、←(エンター) を押します。



2. カーソル▲▼ボタンで縦キーストーンの調整を、カーソル◀▶ボタンで横キーストーンの調整をします。
3. MENU (メニュー) ボタンを押して調整位置を保存し、サブ画面を閉じます。

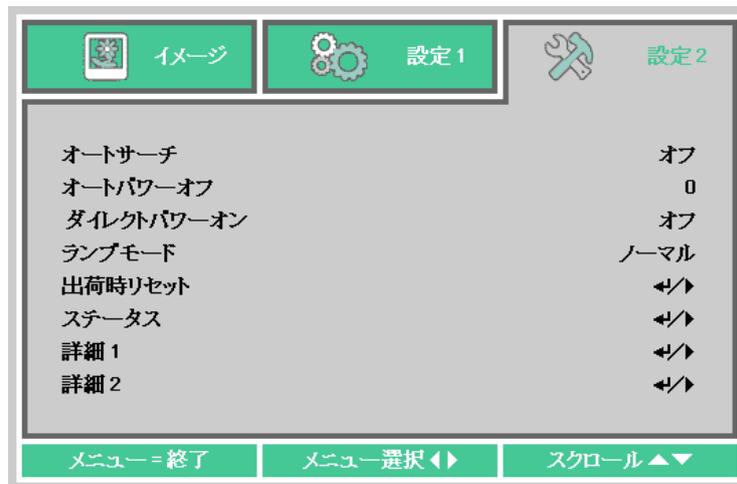


**注記:**

4点キーストーンの補正を行っても画面が変化しない場合は、一度キーストーン補正 (P27の2項) してください。キーストーン補正後に、4点キーストーン補正ができるようになります。

## 設定 2 メニュー

MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。カーソル ◀▶ ボタンを押して設定 2 メニューに移動します。カーソル ▲▼ ボタンを押して、設定 2 メニュー内を上下に移動します。



項目	説明
オートサーチ	カーソル ◀▶ ボタンを押して、自動ソース検出を有効にしたり無効にします。
オートパワーオフ	カーソル ◀▶ ボタンを押して、信号がない場合のランプの自動シャットダウンを有効にしたり無効にします。
ダイレクトパワーオン	カーソル ◀▶ ボタンを押して、AC 電源が供給されている場合の自動電源オン機能を有効にしたり無効にします。
ランプモード	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ランプモードを開き、ノーマル（高輝度）、エコ（低輝度）、スマートエコ（ランプ寿命優先）から選択します。
出荷時リセット	◀ (エンター) / ▶ を押して、すべての設定を工場出荷設定値に戻します。 (ただし、言語、ネットワーク設定、ランプカウンターは除きます)。
ステータス	◀ (エンター) / ▶ を押して、ステータスメニューを開きます。 「ステータス」(46 ページ) を参照してください。
詳細 1	◀ (エンター) / ▶ 押して、詳細 1 メニューを開きます。 「詳細 1 の機能」(47 ページ) を参照してください。
詳細 2	◀ (エンター) / ▶ 押して、詳細 2 メニューを開きます。 「詳細 2 の機能」(59 ページ) を参照してください。

### 注記:

BLANK (ブランク) ボタンを押すか、30 秒間入力信号がない場合、ランプは自動的に 30% まで暗くなります。

## ステータス

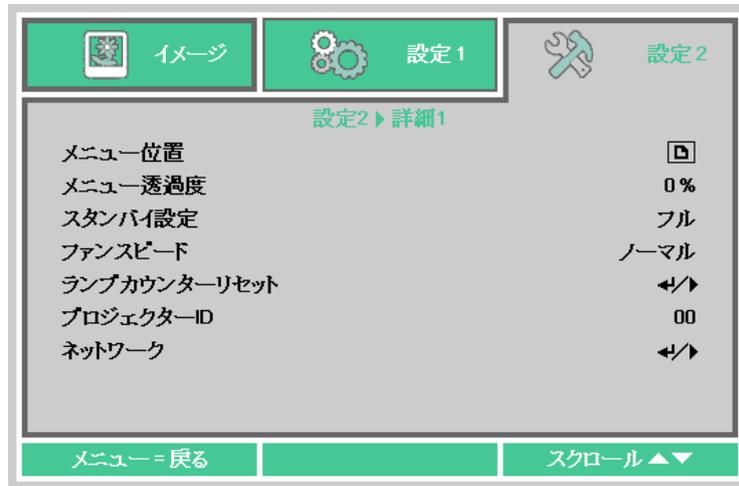
カーソル ▲▼ ボタンを押して、設定 2 メニュー内を上下に移動します。ステータスメニューを選択し、←(エンター) または ▶ を押して、開きます。



項目	説明
入力ソース	有効なインターフェースを表示します。
ビデオ情報	RGB ソースの解像度 / ビデオ情報を表示します。
ランプ使用時間 (Normal, Eco, Smart Eco)	ランプ使用時間についての情報を表示します。(Normal, Eco, Smart Eco)
ソフトウェアバージョン	システムのソフトウェアバージョンを表示します。

## 詳細1の機能

MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶ を押して、設定2メニューに移動します。▲▼ を押して、詳細1メニューに移動し、次に、↵ (エンター) または ▶ を押します。▲▼ を押して、詳細1メニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して、設定値を変更します。

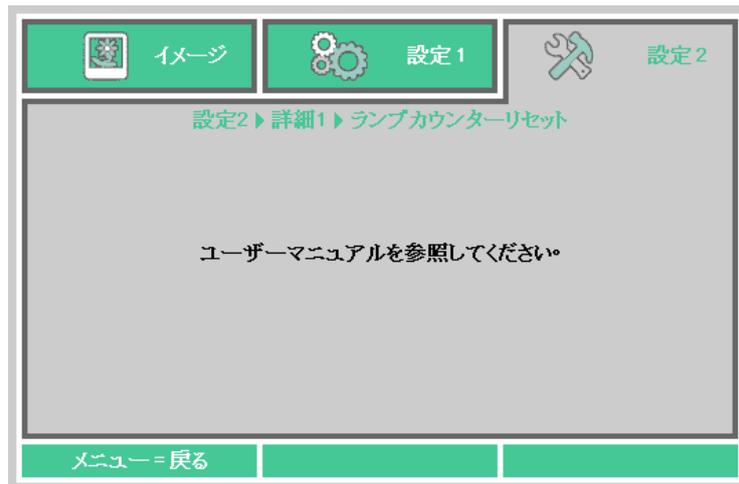


項目	説明
メニュー位置	カーソル ◀▶ ボタンを押して、OSD の位置を選択します。
メニュー透過度	カーソル ◀▶ ボタンを押して、OSD の背景の透明度を選択します。
スタンバイ設定	カーソル ◀▶ ボタンを押してスタンバイ時のモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>フル：ネットワーク、RS-232C 両方が使用できます。</li> <li>RS-232C：スタンバイ時、ネットワーク機能も停止します。RS-232C 機能は作動しています。</li> <li>ネットワーク：スタンバイ時、ネットワーク機能が作動するモードです。</li> </ul> <b>注記：</b> スタンバイ設定が RS-232C / ネットワークの場合、「電源 ON」コマンドのみ有効となります。
ファンスピード	カーソル ◀▶ ボタンを押して、ファン速度をノーマルまたは高速に切り換えます。 <b>注記：</b> 温度の高い場所、湿度の高い場所、または、高地（1500m/4921 フィート以上）では、高速を選択することを推奨します。
ランプカウンターリセット	ランプを交換した後で、ランプ使用時間をリセットします。 「ランプカウンターをリセットする」（64 ページ）を参照してください。
プロジェクター ID	カーソル ◀▶ ボタンを押して、2 桁のプロジェクター ID を 0 から 98 の間で調整します。
ネットワーク	↵ (エンター) / ▶ を押して、ネットワークメニューを開きます。 「ネットワーク」（48 ページ）を参照してください。

### 注記：

「ネットワーク」スタンバイ：2W 未満でネットワークを使用可能な待機状態。

## ランプカウンターリセット



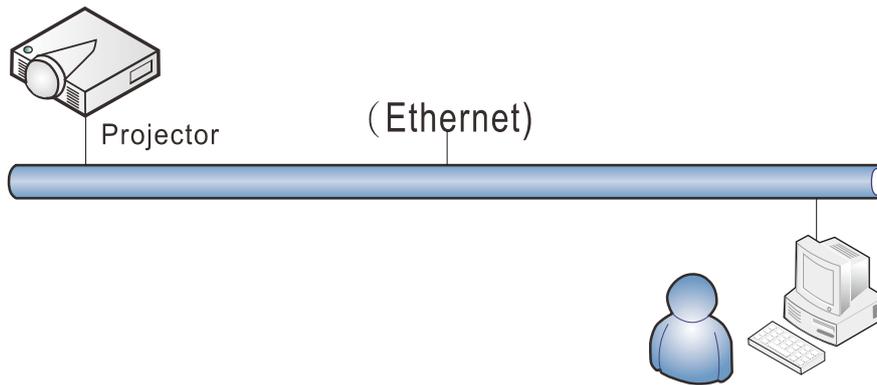
ランプカウンターのリセット方法については、「[ランプカウンターをリセットする](#)」（64 ページ）を参照してください。

## ネットワーク



項目	説明
ネットワーク状態	ネットワークの接続状態を表示します。
DHCP	◀▶ を押して、DHCP をオンにしたりオフにします。 <b>注記</b> ：DHCP オフを選択する場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および、DNS のフィールドに入力します。
IP アドレス	DHCP をオフにする場合は、有効な IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	DHCP がオフの場合は、有効なサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	DHCP がオフの場合は、有効なゲートウェイアドレスを入力します。
DNS	DHCP がオフの場合は、有効な DNS 名を入力します。
適用	↵(エンター) / ▶ を押して設定を確定します。

## LAN\_RJ45



### 有線 LAN のターミナル機能

有線 LAN を介する PC からのプロジェクターのリモート制御またはリモート監視も可能です。Crestron/AMX（デバイス検出）制御ボックスとの互換性により、ネットワーク上で複数のプロジェクター管理が可能になるだけでなく、PC のブラウザ画面上の制御パネルからの管理が可能になります。

- Crestron は、米国 Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は、米国 AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は、JBMA により、日本、米国および他の国において、商標およびロゴ登録が申請されています。

### サポートする外部デバイス

このプロジェクターは、Crestron Electronics 製コントローラおよび関連ソフトウェア（例 RoomView<sup>®</sup>）の特定のコマンドをサポートします。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは、AMX（デバイス検出）をサポートします。

<http://www.amx.com/>

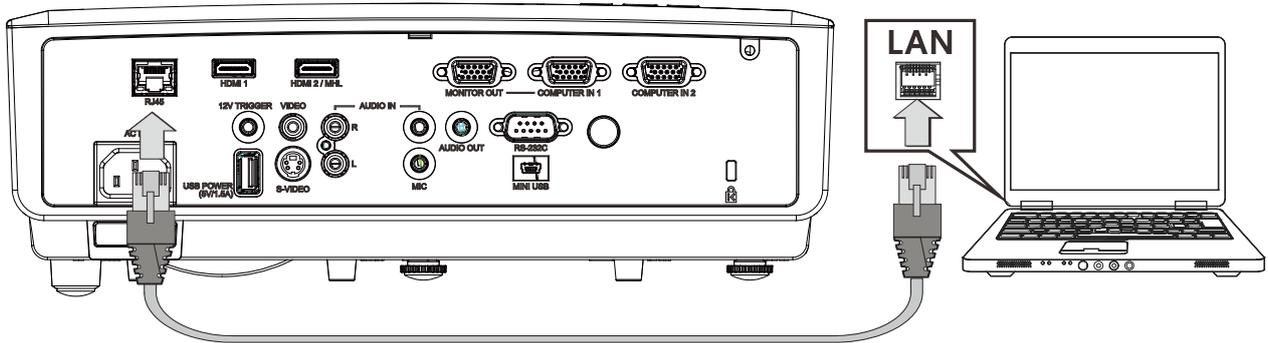
このプロジェクターは、PJLink Class1（バージョン 1.00）のすべてのコマンドをサポートします。

<http://pjlink.jbma.or.jp/english/>

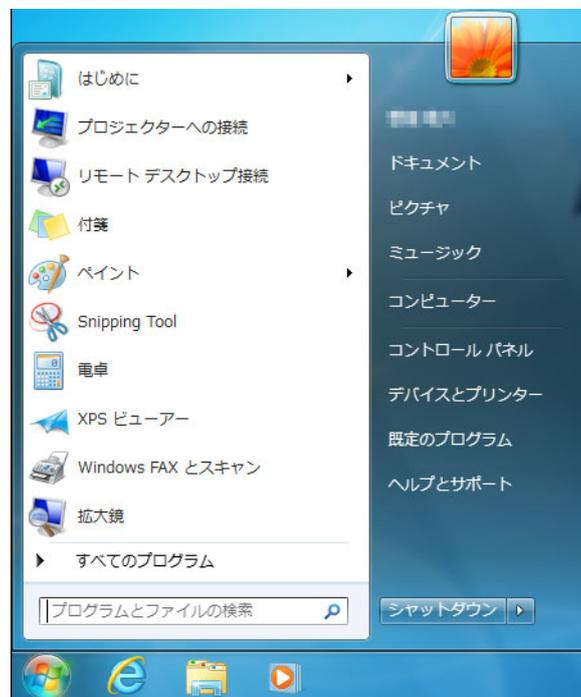
LAN/RJ45 ポートに接続する外部デバイスの範囲および外部デバイスの関連制御コマンドの詳細は、担当営業または、販売店にお問い合わせください。

## LAN RJ45

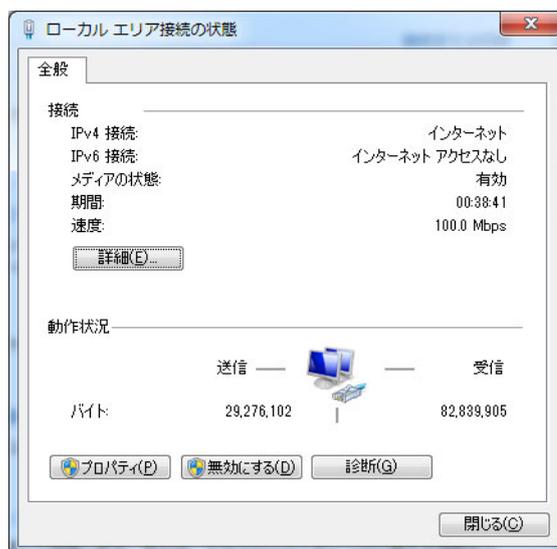
1. LAN ケーブルを、プロジェクターと PC の RJ45 ポートに接続します。



2. PC 上で、スタート → コントロールパネル → ネットワークの状態とタスクの表示を選択します。

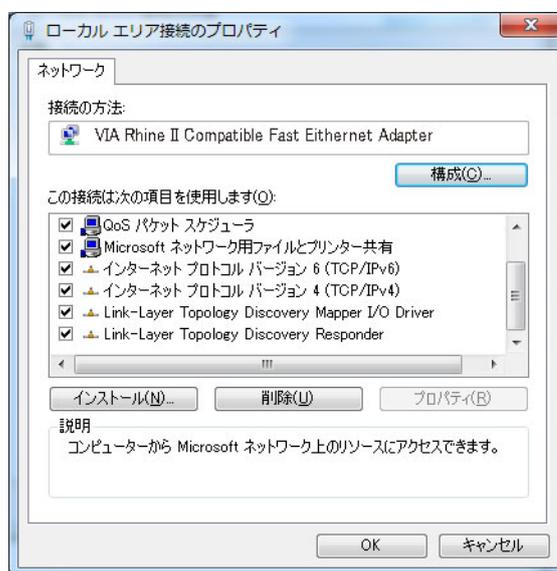


3. ローカルエリア接続をクリックして、ローカルエリア接続の状態画面を表示します。

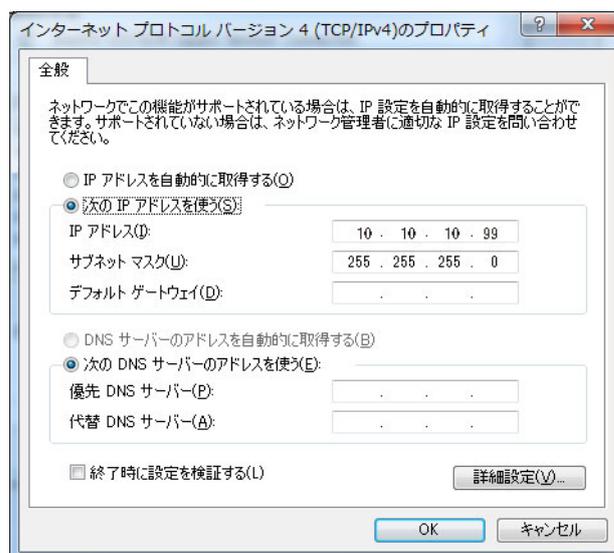


4. プロパティウィンドウで、ネットワークタブを選択し、次に、インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択します。

5. プロパティをクリックします。

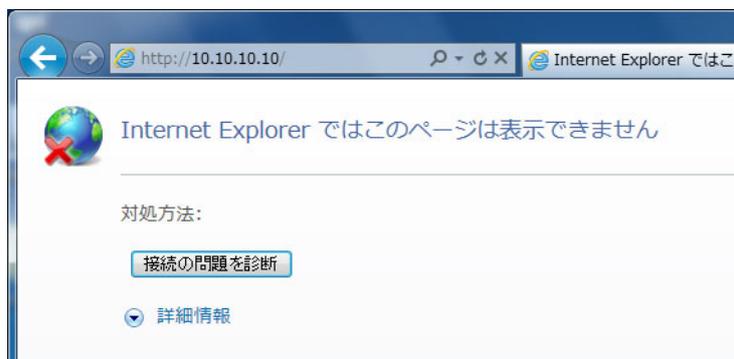


6. 次の IP アドレスを使用するをクリックし、IP アドレスとサブネットマスクのフィールドに入力して、次に、OK をクリックします。



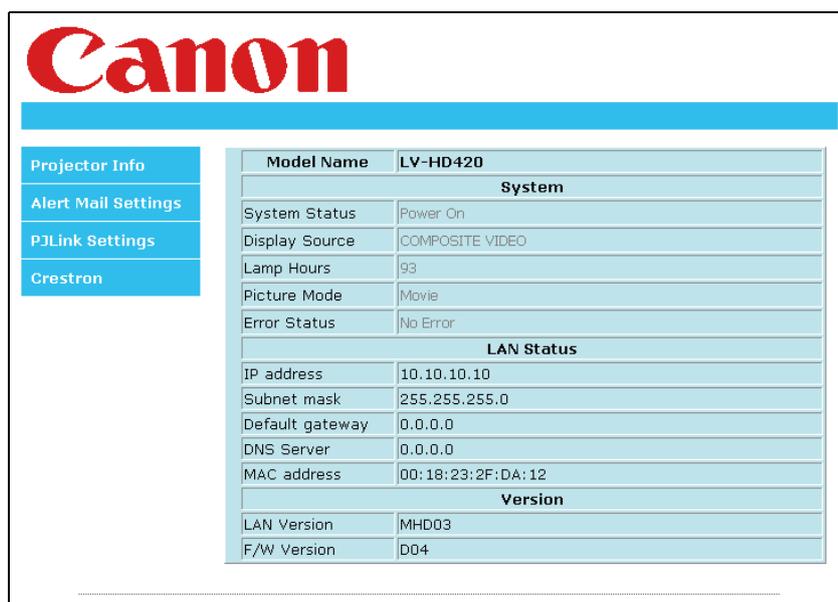
7. MENU (メニュー) ボタンを押します。
8. 設定 2 → 詳細 1 → ネットワークを選択します。
9. ネットワーク設定を開いたら、次を入力します。
  - DHCP : オフ
  - IP アドレス : 10.10.10.10
  - サブネットマスク : 255.255.255.0
  - ゲートウェイ : 0.0.0.0
  - DNS : 0.0.0.0
10. ⏪ (エンター) / ▶ を押して、設定を確定します。

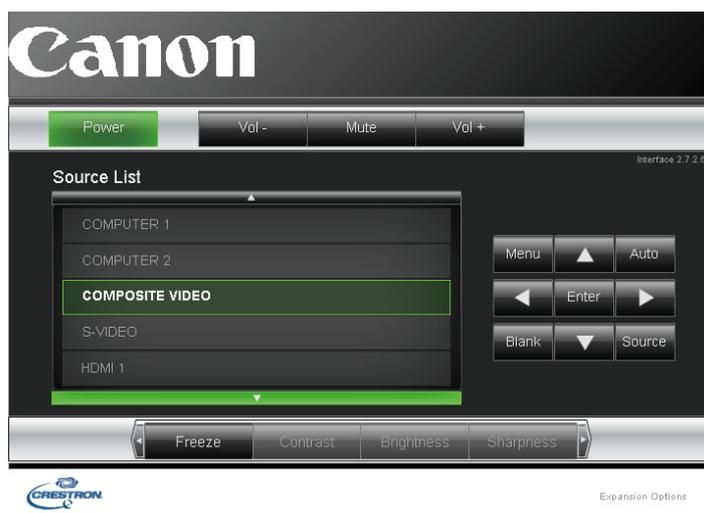
Web ブラウザ (Adobe Flash Player 9.0 以上を使用する Microsoft Internet Explorer など) を開きます。



11. アドレスバーに IP アドレスを入力します : 10.10.10.10.
12. ⏪ (エンター) / ▶ を押します。

プロジェクターがリモート管理用にセットアップされます。次の図のように、LAN/RJ45 機能が表示されます。





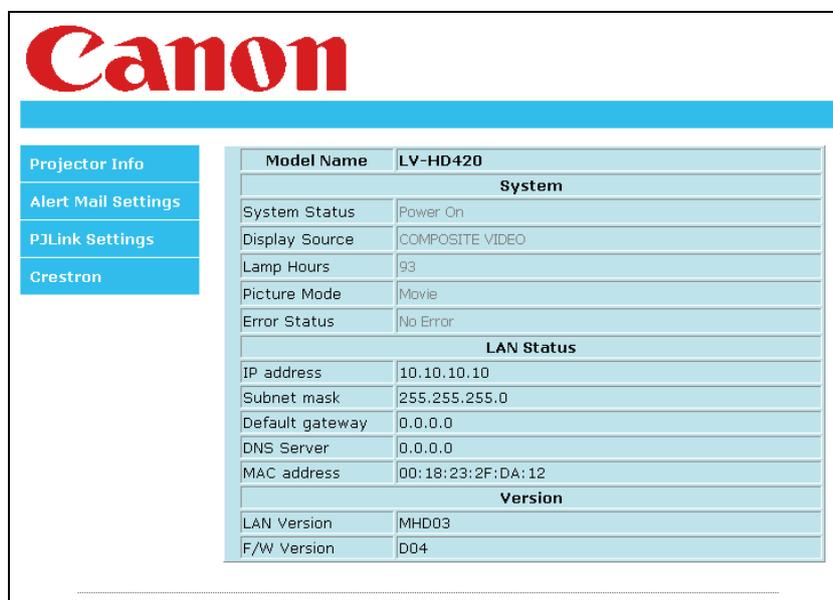
Creston Control	Projector	User Password
IP Address <input type="text"/>	Projector Name <input type="text" value="PJ01"/>	<input type="checkbox"/> Usr Enabled
IP ID <input type="text"/>	Location <input type="text" value="RM01"/>	Password <input type="text"/>
Control Port <input type="text"/>	Assigned To <input type="text" value="Sir"/>	Confirmed <input type="text"/>
<input type="button" value="Control Set"/>	<input type="button" value="Set"/>	<input type="button" value="Usr Set"/>
	Network Config <input type="checkbox"/> DHCP Enabled	Admin Password
	IP Address <input type="text" value="10.10.10.10"/>	<input type="checkbox"/> Adm Enabled
	Subnet Mask <input type="text" value="255.255.255.0"/>	Password <input type="text"/>
	Default Gateway <input type="text" value="0.0.0.0"/>	Confirmed <input type="text"/>
	DNS Server <input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="button" value="Adm Set"/>
	<input type="button" value="Net Set"/>	
	<input type="button" value="Tools Exit"/>	

カテゴリ	項目	入力長
Crestron 制御	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクター	プロジェクター名	10
	位置	10
	割り当て先	10
ネットワーク設定	DHCP (有効)	(N/A)
	IP アドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトゲートウェイ	15
	DNS サーバー	15
ユーザーパスワード	有効	(N/A)
	新規パスワード	10
	確定	10
管理者パスワード	有効	(N/A)
	新規パスワード	10
	確定	10

詳細情報については、<http://www.crestron.com> をご覧ください。

## 電子メールアラートを準備する

1. ユーザーが、Web ブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）を使って LAN RJ45機能にアクセスできることを確認します。
2. LAN/RJ45 のホームページで、**Alert Mail Settings**（アラートメール設定）をクリックします。



The screenshot shows the Canon LAN/RJ45 homepage. On the left is a navigation menu with 'Alert Mail Settings' selected. The main content area displays a table of system and LAN information.

Model Name		LV-HD420
<b>System</b>		
System Status	Power On	
Display Source	COMPOSITE VIDEO	
Lamp Hours	93	
Picture Mode	Movie	
Error Status	No Error	
<b>LAN Status</b>		
IP address	10.10.10.10	
Subnet mask	255.255.255.0	
Default gateway	0.0.0.0	
DNS Server	0.0.0.0	
MAC address	00:18:23:2F:DA:12	
<b>Version</b>		
LAN Version	MHD03	
F/W Version	D04	

3. 工場出荷時設定では、**Alert Mail Settings**（アラートメール設定）にある入力ボックスは空白です。



The screenshot shows the 'Send E-Mail' configuration page in the Canon LAN/RJ45 interface. The 'Alert Mail Settings' menu item is selected. The page contains several input fields and checkboxes for configuring email alerts.

**Send E-Mail**

Enter the appropriate settings in the fields below:  
(Your SMTP server may not require a user name or password.)

SMTP Server:  Port:

User Name:

Password:

Password (re-type):

From:

To:

CC:

**E-mail Alert Options:**

Fan lock :  Over\_Heat:

Case Open:  Lamp Fail:

Lamp Hours Over:

---

#### 4. アラートメールを送信する場合は、以下のように入力します。

- **SMTP** フィールドは、電子メール送信するメールサーバーです（SMTP プロトコル）。これは、必須フィールドです。
- **To（宛先）** フィールドには、受信者の電子メールアドレスを入力します（プロジェクト管理者など）。これは、必須フィールドです。
- **CC** フィールドに入力した電子メールアドレスには、アラートのカーボンコピーを送信します。これはオプションのフィールドです（プロジェクト管理者のアシスタントなど）。
- **From（差出人）** フィールドには、送信者の電子メールアドレスを入力します（プロジェクト管理者など）。これは、必須フィールドです。
- 希望するボックスにチェックを入れて、アラート条件を選択します。

##### **注記：**

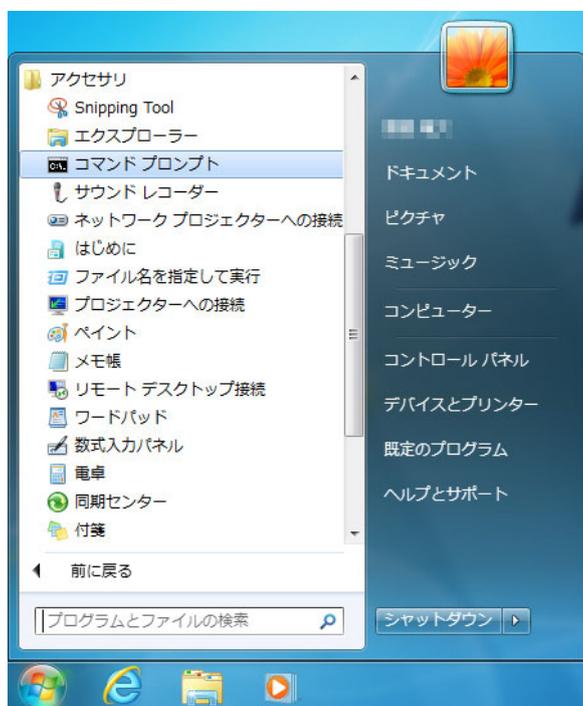
指示に従って、すべてのフィールドに入力します。ユーザーは、**Send Test Mail（テストメールの送信）** をクリックして、設定が正しいことをテストすることができます。電子メールアラートを送信するには、アラート条件を選択し、正しい電子メールアドレスを入力する必要があります。

## RS-232C by Telnet 機能

プロジェクターは専用の RS-232C コマンド制御による「ハイパー端末」通信で RS-232C インターフェースに接続されているだけでなく、代替の RS-232C コマンド制御方法があるため、LAN/RJ45 インターフェースの場合は「RS-232C by TELNET」と呼ばれます。

### 「RS-232C by TELNET」用のクイックスタートガイド

1. プロジェクターの OSD で IP アドレスをチェックし、取得します。
2. PC がプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
3. Telnet を有効化します。  
「[Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 で TELNET を有効化する方法](#)」(57 ページ) を参照してください。
4. スタート → すべてのプログラム → アクセサリ → コマンドプロンプトを選択します。



## 5. コマンドフォーマットを以下のように入力します：

telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 (「エンター」キーを押す)

(ttt.xxx.yyy.zzz : プロジェクターの IP アドレス)

Telnet-Connection の準備ができて、ユーザーが RS-232C コマンドを入力できるようになった場合、「エンター」キーを押すと、RS-232C コマンドが実行可能になります。

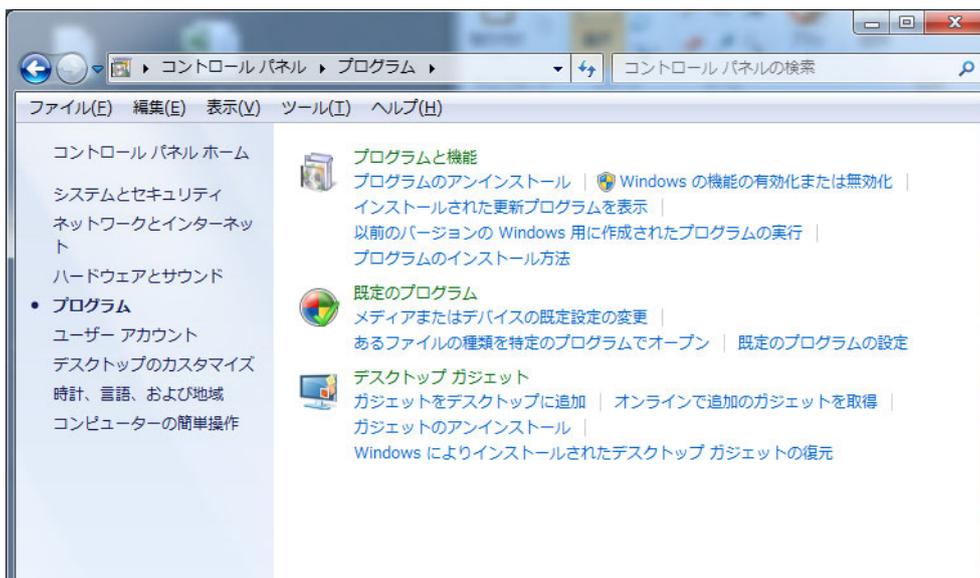
### Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 で TELNET を有効化する方法

Windows のデフォルトのインストールでは、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、「Windows 機能の有効化または無効化」によってその機能を有効にすることができます。

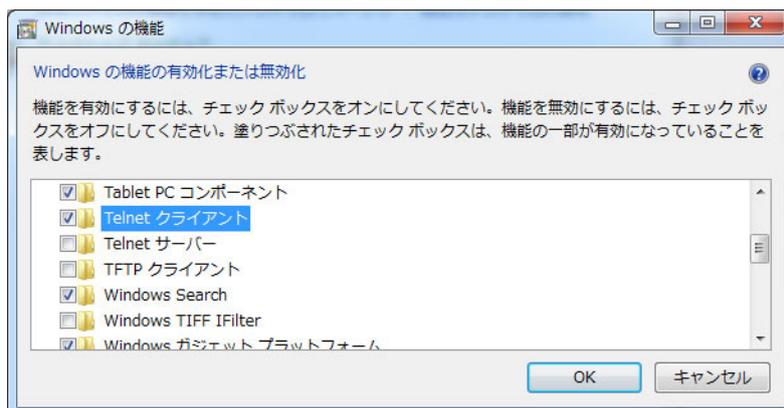
#### 1. Windows で「コントロールパネル」を開きます。



#### 2. 「プログラム」を開きます。



### 3. 「Windows 機能のオンまたはオフを切り換える」を選択して開きます。



### 4. Telnet クライアントオプションにチェックを入れ、「OK」ボタンを押します。

#### 「RS-232C by TELNET」のスペックシート

1. Telnet : TCP
2. Telnet ポート : 23  
(詳細については、担当営業または、販売店にお問い合わせください)
3. Telnet ユーティリティ : Windows “TELNET.exe” (コンソールモード)
4. 通常の RS-232C by TELNET コントロール用の接続 : TELNET 接続準備ができたなら Windows Telnet ユーティリティを直接閉じます。
5. Telnet-Control の場合の制限 1 : Telnet-Control アプリケーションの場合、連続できるネットワークペイロードは 50 バイト未満です。  
Telnet-Control の場合の制限 2 : Telnet-Control の場合、1 つの完全な RS-232C コマンドは 26 バイト未満です。  
Telnet-Control の場合の制限 3 : 次の RS-232C コマンドの最小遅延は 200 (ms) 以上にする必要があります。  
(\* Windows 組み込み「TELNET.exe」ユーティリティでは、「エンター」キーを押すと「改行」と「復帰」コードが有効になります。)

## 詳細2の機能

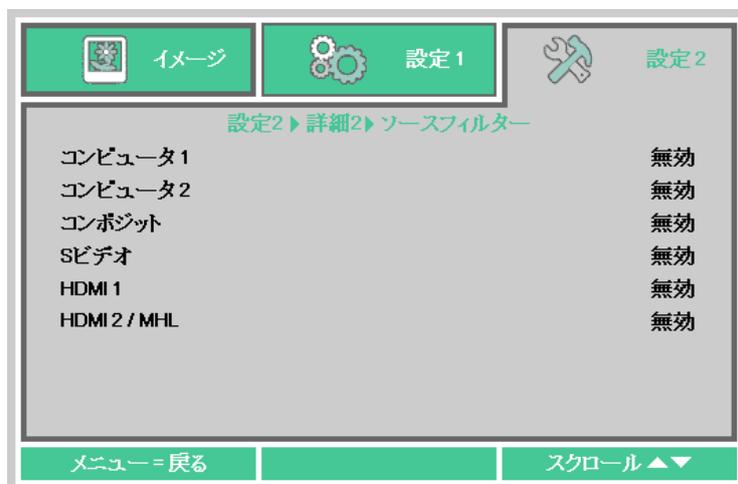
MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。◀▶ を押して、設定2メニューに移動します。▲▼ を押して、詳細2メニューに移動し、次に、↵ (エンター) または ▶ を押します。▲▼ を押して、詳細2メニュー内を上下に移動します。◀▶ を押して、設定値を変更します。



項目	説明
スリープタイマー (分)	カーソル ◀▶ ボタンを押してスリープタイマーを設定します。プリセットした時間が過ぎると、プロジェクターは自動的にオフになります。
入力ソース設定	↵ (エンター) / ▶ を押して、入力ソース設定メニューを開きます。 「 <a href="#">入力ソース設定</a> 」(60 ページ) を参照してください。
スクリーン色補正	カーソル ◀▶ ボタンを押して、スクリーン色を、薄黄色、ピンク、薄緑、青、黒板から選択します。またはオフを選択します。
カラースペース	カーソル ◀▶ ボタンを押して、カラースペースを調整します。
入力レベル	カーソル ◀▶ ボタンを押して、入力レベルを調整します。

## 入力ソース設定

←(エンター) を押して、ソースフィルターサブメニューを開きます。  
有効を選択した場合はオートサーチの対象となります。



項目	説明
コンピュータ 1	◀▶ ボタンを押して、コンピュータ 1 を有効にしたり無効にします。
コンピュータ 2	◀▶ ボタンを押して、コンピュータ 2 を有効にしたり無効にします。
コンポジット	◀▶ ボタンを押して、コンポジットビデオソースを有効にしたり無効にします。
S ビデオ	◀▶ ボタンを押して、S ビデオソースを有効にしたり無効にします。
HDMI 1	◀▶ ボタンを押して、HDMI 1 ソースを有効にしたり無効にします。
HDMI 2/MHL	◀▶ ボタンを押して、HDMI 2/MHL 互換ソースを有効にしたり無効にします。

## ランプを交換する

本機では、次のランプを使用しています。

ランプの品番 : LV-LP42

ご購入の際は、販売店にご相談ください。



ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず設置業者または販売店に依頼してください。また、本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するときなど、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換をする際は、本機を床や作業台に下ろしてからランプ交換を行ってください。交換する際、ランプが落下し、けがや故障の原因になることがあります。万一、ランプが破裂し破片などを吸い込んだり目や口に入ったときは、すみやかに医師にご相談ください。

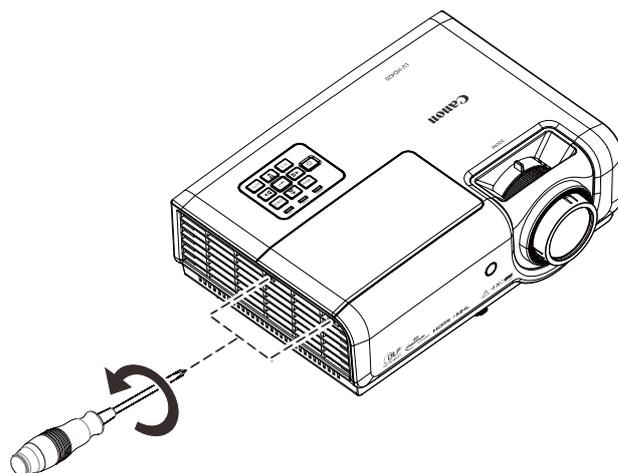


ランプを交換するときは、本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、45分以上経過してから行ってください。電源を切った直後は、ランプが大変高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。

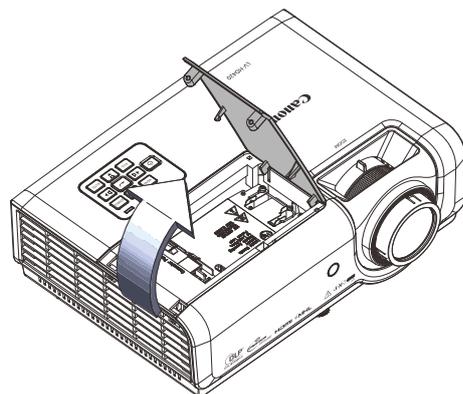


- ランプは、必ず指定のものを使用してください。
- ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。キヤノンのホームページからも購入できます。
- ランプ交換の際は、内部のガラス面などに触れないでください。投写の性能が下がるなどの原因になります。
- ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、取り扱いにご注意ください。万が一ランプが破裂した場合は、販売店に連絡し、「ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意」の指示に従ってください。
- ランプを交換の際は、指定のねじ以外ははずさないでください。

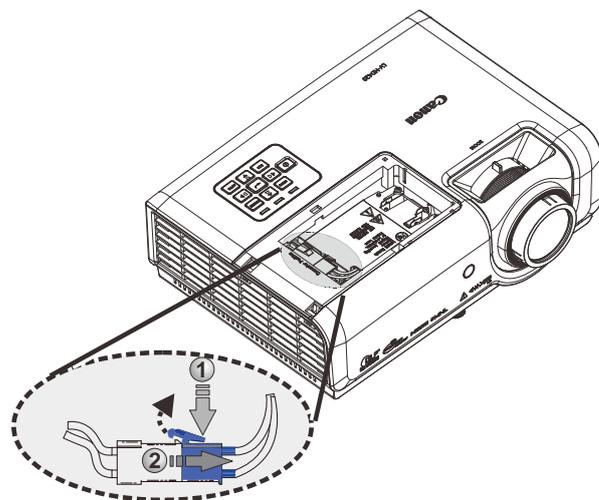
1. ランプカバーの2本のねじを取り外します。



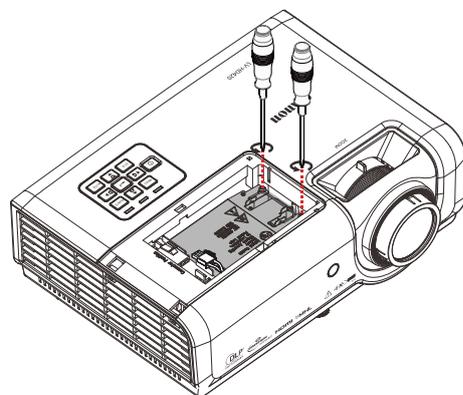
**2.** ランプカバーを取り外します。



**3.** ランプコネクタを取り外します。

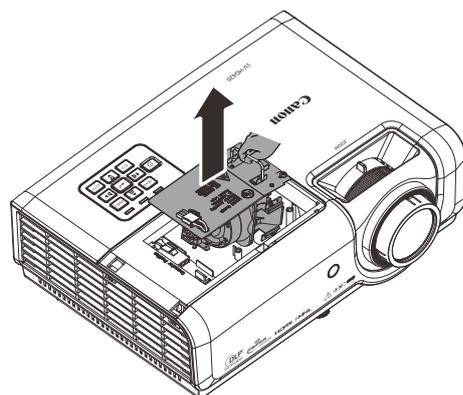


**4.** ランプの2本のねじを取り外します。

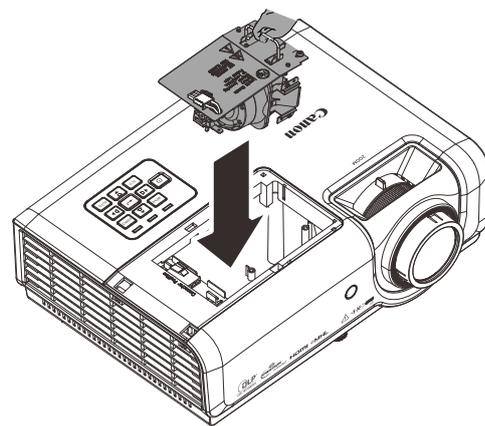


**5.** ハンドルを持ち上げます。

**6.** ハンドルを強く引いて、ランプを取り外します。

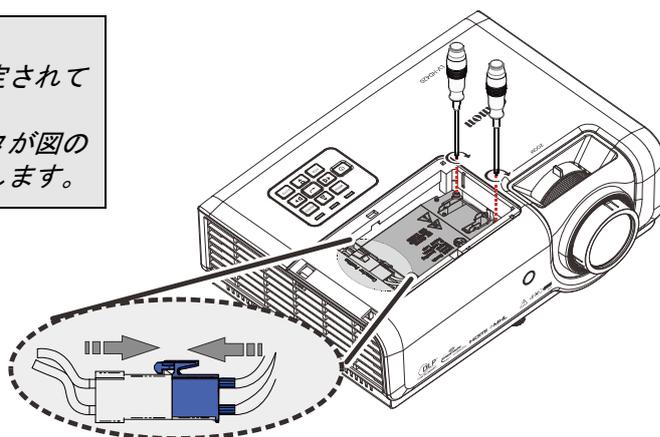


- 7.** ステップ1～6の逆の手順で、新しいランプを取り付けます。  
取り付けの際には、破損しないように、ランプが正しい向きになっていることを確認します。

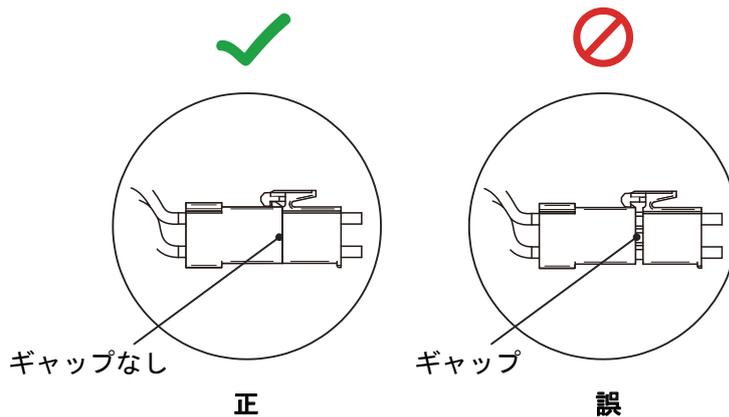


**注記：**

ねじを締める前に、ランプが定位置にしっかり固定されていることを確認します。  
ランプカバーを再取り付けする前にランプコネクタが図のように正しく接続され配置されていることを確認します。



下図のように、ランプコネクタは、コネクタベースと隙間なく取り付ける必要があります。ランプコネクタとコネクタベースとの間の隙間は、プロジェクトに損傷を与える可能性があります。以下の図は、ランプコネクタの正しい取り付けと誤った取り付けを示しています。



- 8.** ランプカバーを閉じてねじを締めます。

## ランプカウンターをリセットする

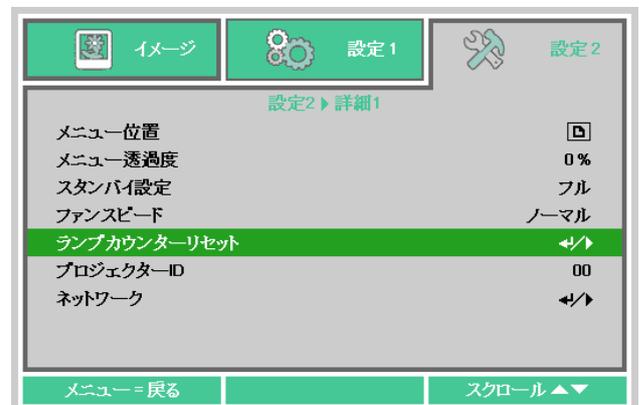
ランプを交換したら、ランプカウンターをゼロに戻します。次の手順でリセットします。

1. MENU (メニュー) ボタンを押して OSD メニューを開きます。

2. カーソル ◀▶ ボタンを押して、設定 2 メニューに移動します。カーソル ▼▲ ボタンを押して、詳細 1 に移動して、↵ (エンター) を押します。



3. カーソル ▼▲ ボタンを押して、ランプカウンターリセットに移動します。

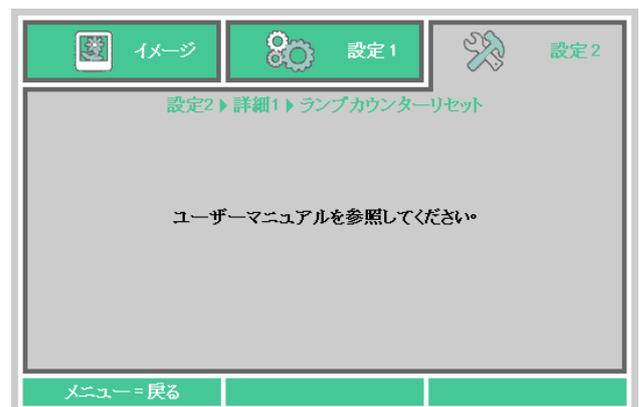


4. カーソル ▶ または ↵ (エンター) を押します。メッセージ画面が表示されず。

5. 4つのボタン (▼▲ ◀▶) を順番に押して、ランプカウンターをリセットします。

6. ランプカウンターがリセットされるとメッセージ画面が表示されます。

7. MENU (メニュー) ボタンを押して、設定 2 に戻ります。



---

## プロジェクターを清掃する

プロジェクターに、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出る場合があります。



- 本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、45分以上経過してから行ってください。電源を切った直後は、本体がたいへん高温になっているため、やけどやけがをする原因となることがあります。
- 本機のメンテナンスの際に接着剤・潤滑剤・油・アルカリ性洗剤などを使用しないでください。付着するとキャビネットが割れ、本機が落下し事故やけがの原因となります。

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

### レンズを清掃する

レンズの清掃は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナーを使用してください。レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。

### プロジェクター本体を清掃する

次のようにプロジェクター本体を清掃します。

1. 汚れのない湿らせた布で埃を拭き取ります。
2. お湯と中性洗剤（食器洗い用洗剤など）で湿らせた布でプロジェクター本体を拭きます。
3. 洗剤を洗い流した布でプロジェクターをもう一度拭きます。

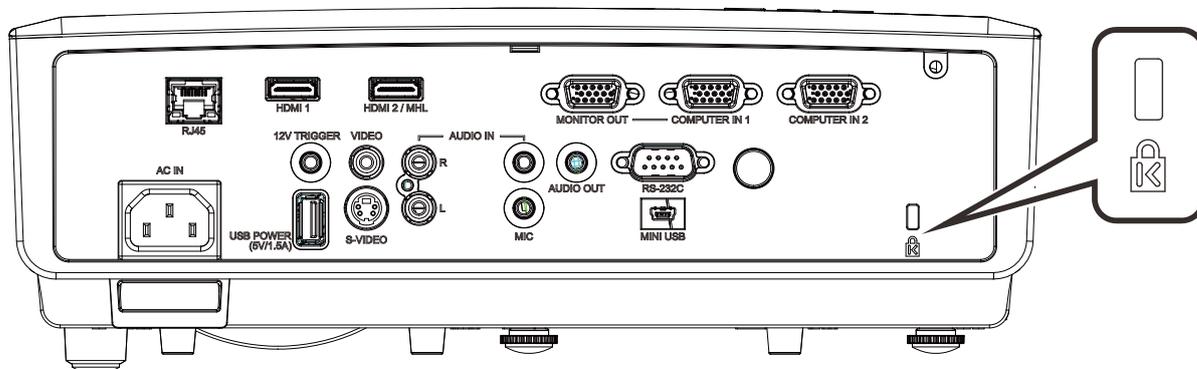


アルコールベースの研磨クリーナーは使わないでください。変色や色あせの原因になることがあります。

## Kensington ロックを使用する

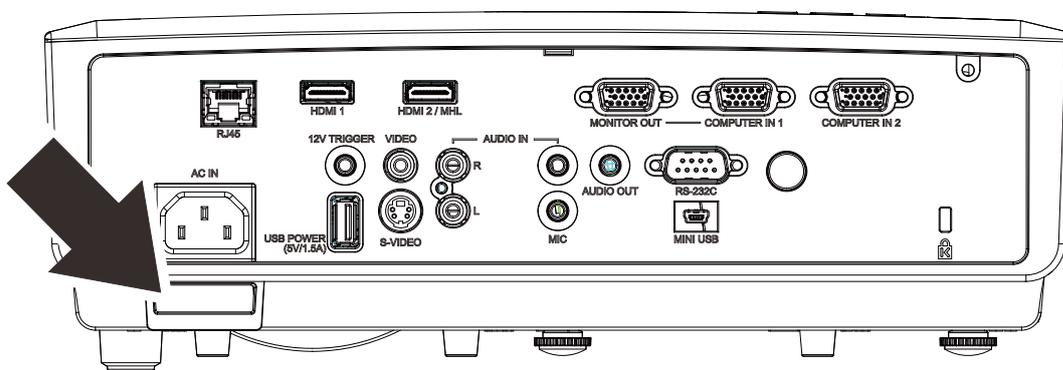
### Kensington ロックを使用する

プロジェクターの盗難を防止するために、ケンジントンスロットとセキュリティケーブルを使って、プロジェクターを机などに固定できます。



### セキュリティバーを使用する

ケンジントンロックに加えて、セキュリティバーを使って、プロジェクターの盗難を防止します。下の図を参照してください。



### 一般的な問題と解決方法

このガイドラインでは、プロジェクターの使用中に発生する可能性のある問題の解決方法を説明します。問題を解決できない場合は、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。

問題が簡単な原因（接続が緩んでいたなど）に起因する場合があります。問題別の対処方法に進む前に、次の点をご確認ください。

- その他の電気機器を使って、電気コンセントに問題がないことを確認します。
- プロジェクターがオンになっていることを確認します。
- すべての接続ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。
- 取り付けた機器がオンになっていることを確認します。
- 接続したPCがスリープモードになっていないことを確認します。
- 接続したPCが外部ディスプレイ用に設定されていることを確認します（通常、PCのファンクションキーの組み合わせを押して行ないます）。

## LED メッセージ

メッセージ	POWER LED 緑	LAMP LED 赤	TEMP LED 赤
システムを初期化しています	点滅	オフ	オフ
スタンバイ状態です	点灯	オフ	オフ
システム電源をオンにしています	点滅	オフ	オフ
通常動作状態です	点灯	オフ	オフ
冷却中です	点滅	オフ	オフ
MPU の機能停止を検出しました（初期化失敗）	2 回点滅	オフ	オフ
内部の温度が高くなっています	オフ	オフ	点灯
温度ブレークセンサーエラー	4 回点滅	オフ	オフ
ランプもしくはランプバラストに関わる障害が発生しました	5 回点滅	オフ、1～10 回点滅	オフ
ファン -1 にエラーが発生しました	6 回点滅	1 回点滅	オフ
ファン -2 にエラーが発生しました	6 回点滅	2 回点滅	オフ
ファン -3 にエラーが発生しました	6 回点滅	3 回点滅	オフ
ファン -4 にエラーが発生しました	6 回点滅	4 回点滅	オフ
ランプカバーが開いています	7 回点滅	オフ	オフ
DMD エラー	8 回点滅	オフ	オフ
カラーホイールエラー	9 回点滅	オフ	オフ

エラーが発生した場合は、電源コードの接続を抜き、約 1 分待ってから、プロジェクターを再起動します。電源またはランプ LED が点滅し続ける場合、または、上記チャートに記載されていない状況の場合は、キヤノンお客様相談センターに連絡してください。

---

## 問題と対処方法

### 画像の問題

#### 問題：スクリーンに画像が表示されない

1. PC 上の設定を確認します。
2. 正しい順序で、すべての装置の電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直します。

#### 問題：画像がぼやける

1. プロジェクターのフォーカスを調整します。
2. リモコンまたは本体のオートボタンを押します。
3. プロジェクターからスクリーンまでの距離が、指定された範囲以内であることを確認します。
4. 投写レンズが汚れていないことを確認します。

#### 問題：画像の上辺または下辺が長い（台形歪み）

1. プロジェクターは、スクリーンに対してできるだけ垂直になるように置きます。
2. リモコンまたは本体の Keystone（キーストーン）ボタンを使って、台形歪みを補正します。

#### 問題：画像が反転する

OSD の設定 1 メニューで反転表示設定を確認します。

#### 問題：画像に線が入る

1. OSD のイメージ→アナログ設定メニューで、周波数設定とトラッキング設定をデフォルト設定にします。
2. 接続した PC のビデオカードが問題の原因でないことを確認するために、他のコンピュータに接続します。

#### 問題：コントラストがない

OSD のイメージメニューでコントラスト設定を調整します。

#### 問題：投映画像の色がソース画像と一致しない

OSD のイメージ -> 詳細メニューで、色温度設定とガンマ設定を調整します。

### ランプの問題

#### 問題：映像が投写されない

1. 電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。
2. 電源に他の電気機器を接続して、電源が正常であることを確認します。
3. 正しい順序でプロジェクターを再起動して、POWER LED が点灯することを確認します。
4. 最近ランプを交換した場合は、ランプの接続をもう一度確認します。

#### 問題：ランプがオフになる

1. 電力サージがあるとランプがオフになることがあります。電源コードを接続し直します。POWER LED が点灯する場合は、電源ボタンを押します。

---

## **リモコンの問題**

**問題：プロジェクターがリモコンに反応しない**

1. リモコンをプロジェクターのリモコン受光部に向けます。
2. リモコンとリモコン受光部の間に障害物がないことを確認します。
3. 室内の蛍光灯を消します。
4. 電池のと+と-の向きを確認します。
5. 電池を交換します。
6. 周辺にある赤外線対応機器をオフにします。
7. リモコンを点検修理に出します。

## **音声の問題**

**問題：音声が聞こえない**

1. リモコンの音量を調整します。
2. オーディオソースの音量を調整します。
3. オーディオケーブルの接続を確認します。
4. その他のスピーカーを使って、オーディオソースの出力をテストします。
5. プロジェクターを修理に出します。

**問題：音声が歪む**

1. オーディオケーブルの接続を確認します。
2. その他のスピーカーを使って、オーディオソースの出力をテストします。
3. プロジェクターを修理に出します。

## **プロジェクターを修理に出す**

お客様自身で問題を解決できない場合は、プロジェクターを修理に出します。故障の内容をできるだけ詳しく記載したチェックリストを同封してください。修理のために、プロジェクター販売店またはキヤノンお客様相談センターへ修理をご依頼ください。

## 本体

形名		LV-HD420	LV-X420
表示方式		1 チップ DLP™	
光学方式		時分割色抽出・順次表示	
表示素子	有効表示域サイズ	0.65 型 / 16:9	0.55 型 / 4:3
	画素数	2,073,600 (1920 x 1080) x 1 枚	786,432 (1024 x 768) x 1 枚
投写レンズ	ズーム	手動 (1.5 倍)	
	フォーカス	手動	
	レンズシフト	V:65%、固定	V:64%、固定
	焦点距離	f=20.70 – 31.1mm	
	F 値	F=2.42 – 2.97	
光源 (ランプモード: ノーマル / エコ)		高圧水銀ランプ: 310 / 245W	
画面サイズおよび投写距離		最小: 76cm (30 インチ) ~ 最大: 813cm (320 インチ) 投写距離: 1.2m ~ 10.0m	最小: 76cm (30 インチ) ~ 最大: 660cm (260 インチ) 投写距離: 1.2m ~ 10.0m
色数		1677 万色	
光出力 (*1) (*2)		4200 lm	
コントラスト比 (全白: 全黒) (*2) (*3)		8000:1	10000:1
周辺照度比 (*2)		80%	
スピーカー		10W、モノラル	
入力対応信号		対応信号一覧 ( <a href="#">P75</a> ~ <a href="#">P76</a> ) をご覧ください。	
表示解像度	コンピューター信号入力	最大入力解像度: 1920 x 1200 ドット (リサイジング表示) パネル画面解像度: 1920 x 1080	最大入力解像度: 1920 x 1200 ドット (リサイジング表示) パネル画面解像度: 1024 x 768
映像信号	アナログ PC 入力	WUXGA、WSXGA+、UXGA、SXGA+、WXGA+、WXGA、SXGA、XGA、SVGA、VGA、MAC	
	デジタル PC 入力	WUXGA、WSXGA+、UXGA、SXGA+、WXGA+、WXGA、SXGA、XGA、SVGA、VGA	
	デジタルビデオ入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p	
	MHL 入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p / 576i / 480i	
	コンポーネントビデオ入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 576i / 480p / 480i	
	ビデオ入力 / S-Video	NTSC / PAL / SECAM / NTSC4.43 / PAL-M / PAL-N	
映像信号出力端子	ミニ Dsub15 x 2	アナログ PC、コンポーネントビデオ入力	
	ミニ Dsub15	アナログ PC、コンポーネントビデオ出力	
	HDMI / MHL	デジタル PC、デジタルビデオ、MHL 入力	
	HDMI	デジタル PC、デジタルビデオ入力	
	ミニ DIN4	S ビデオ入力	
	RCA x 1	ビデオ入力	
その他入力端子	RCA x 2	Audio-L / Audio-R 入力	
	ミニジャック x 3	音声入力 x 1、音声出力 x 1、マイク入力 x 1	
	ミニジャック	トリガー出力 (12V)	
	Dsub9	RS-232C 接続	
	RJ-45	ネットワーク接続 (100BASE-TX / 10BASE-T)	
	mini USB	サービスポート	
	USB Type A	給電用端子 (1.5A)	

形名		LV-HD420	LV-X420
騒音		40/36 dB (ランプモード: ノーマル / エコ)	
使用温度		5 °C ~ 40 °C	
電源		AC100V 50 / 60Hz	
最大消費電力	ランプモード: ノーマル	410W	
	ランプモード: エコ	320W	
待機消費電力	RS-232C	0.5W	
	ネットワーク	2.0W	
外形寸法		幅 314mm x 高さ 112mm x 奥行 231mm	
質量		3.4kg	
付属品		リモコン、リモコン用ボタン電池、電源コード、コンピューターケーブル、 使用説明書 (CD-ROM)、かんたんガイド、 重要なお知らせ (Important Information)、保証書	

(\*1) ピクチャーモードがプレゼンテーション

(\*2) 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 B に基づいています。

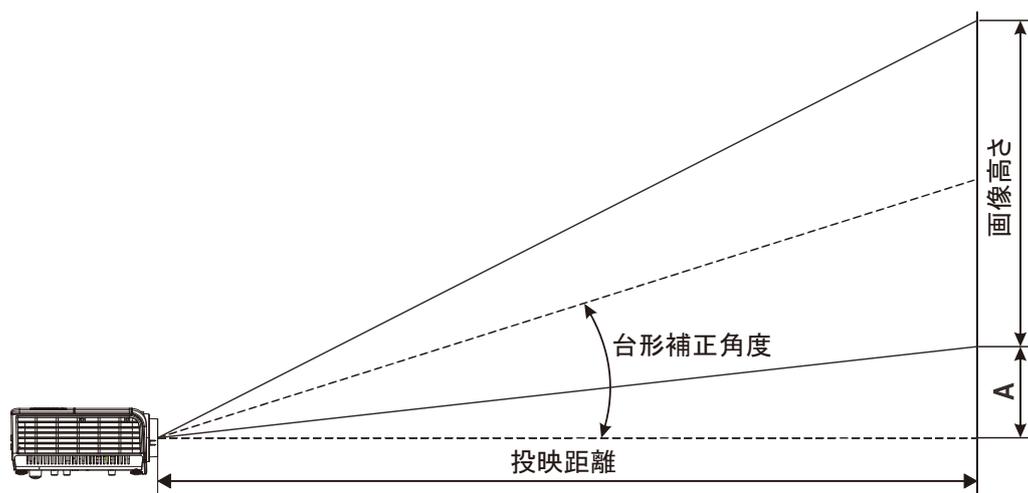
(\*3) 映像の輝度情報を基に、光量を調整し、シーン毎にコントラストを最適化しています。

※ 長時間・連続使用の際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。

※ 本プロジェクターは JIS C 61000-3-2 適合品です。

※ 製品の仕様及び外観の一部を予告なく変更することがあります。

## 投写距離と画面サイズ



### 投写距離と画面サイズの一覧

LV-HD420

画面サイズ			投写距離		オフセット-A [mm]
対角 [型]	横 [cm]	縦 [cm]	ワイド端 [m]	テレ端 [m]	
30	66	37	-	1.39	56
40	89	50	1.23	1.85	75
60	133	75	1.85	2.78	113
80	177	100	2.46	3.70	150
100	221	125	3.08	4.63	188
120	266	149	3.69	5.55	224
140	310	174	4.31	6.48	261
160	354	199	4.92	7.40	299
180	398	224	5.54	8.33	336
200	443	249	6.15	9.25	374
210	465	262	6.46	9.72	393
220	487	274	6.77	-	411
240	531	299	7.39	-	449
260	576	324	8.00	-	486
280	620	349	8.62	-	524
300	664	374	9.23	-	561
320	708	398	9.85	-	597

LV-X420

画面サイズ			投写距離		オフセット -A [mm]
対角 [型]	横 [cm]	縦 [cm]	ワイド端 [m]	テレ端 [m]	
30	61	46	–	1.68	64
40	81	61	1.49	2.24	85
60	122	91	2.23	3.35	126
80	163	122	2.97	4.47	170
100	203	152	3.72	5.59	211
120	244	183	4.46	6.71	254
140	284	213	5.21	7.82	296
160	325	244	5.95	8.94	339
170	345	249	6.32	9.50	346
180	366	274	6.69	–	381
200	406	305	7.44	–	424
220	447	335	8.18	–	466
230	467	351	8.55	–	488
240	488	366	8.92	–	509
260	528	396	9.67	–	550

## 対応信号一覧

信号	解像度	水平同期 (KHZ)	垂直同期 (HZ)	コンポジット / Sビデオ	コンポーネント	RGB	DVI/HDMI
NTSC	—	15.734	60.0	○	—	—	—
PAL/SECAM	—	15.625	50.0	○	—	—	—
VESA	720 x 400	37.9	85.0	—	—	○	○
	640 x 480	31.5	60.0	—	—	○	○
	640 x 480	37.9	72.8	—	—	○	○
	640 x 480	37.5	75.0	—	—	○	○
	640 x 480	43.3	85.0	—	—	○	○
	800 x 600	35.2	56.3	—	—	○	○
	800 x 600	37.9	60.3	—	—	○	○
	800 x 600	46.9	75.0	—	—	○	○
	800 x 600	48.1	72.2	—	—	○	○
	800 x 600	53.7	85.1	—	—	○	○
	800 x 600	76.3	120.0	—	—	○	○
	1024 x 768	48.4	60.0	—	—	○	○
	1024 x 768	56.5	70.1	—	—	○	○
	1024 x 768	60.0	75.0	—	—	○	○
	1024 x 768	68.7	85.0	—	—	○	○
	1024 x 768	97.6	120.0	—	—	○	○
	1280 x 720	45.0	60.0	—	—	○	○
	1280 x 720	91.5	119.9	—	—	○	○
	1280 x 800	49.7	59.8	—	—	○	○
	1280 x 800	62.8	74.9	—	—	○	○
	1280 x 800	71.6	84.8	—	—	○	○
	1280 x 800	101.6	119.9	—	—	○	○
	1280 x 1024	64.0	60.0	—	—	○	○
	1280 x 1024	80.0	75.0	—	—	○	○
	1280 x 1024	91.1	85.0	—	—	○	○
	1280 x 960	60.0	60.0	—	—	○	○
	1280 x 960	85.9	85.0	—	—	○	○
	1400 x 1050	65.3	60.0	—	—	○	○
	1440 x 900	70.6	75.0	—	—	○	○
	1440 x 900	55.9	60.0	—	—	○	○
1600 x 1200	75.0	60.0	—	—	○	○	
1680 x 1050	64.7	59.9	—	—	○	○	
1680 x 1050	65.3	60.0	—	—	○	○	
1920 x 1200	74.0	60.0	—	—	○	○	

信号	解像度	水平同期 (KHZ)	垂直同期 (HZ)	コンポジット / Sビデオ	コンポーネント	RGB	DVI/HDMI
Apple Mac	640 x 480	35.0	66.7	—	—	○	○
	832 x 624	49.7	74.5	—	—	○	○
	1024 x 768	60.2	74.9	—	—	○	○
	1152 x 870	68.7	75.1	—	—	○	○
SDTV	480i	15.734	60.0	—	○	—	○
	576i	15.625	50.0	—	○	—	○
EDTV	576p	31.3	50.0	—	○	—	○
	480p	31.5	60.0	—	○	—	○
HDTV	720p	37.5	50.0	—	○	—	○
	720p	45.0	60.0	—	○	—	○
	1080i	33.8	60.0	—	○	—	○
	1080i	28.1	50.0	—	○	—	○
	1080p	67.5	60.0	—	○	—	○
	1080p	56.3	50.0	—	○	—	○
	1080p	27	24.0	—	○	—	○
	1080p	28	25.0	—	○	—	○
	1080p	33.7	30.0	—	○	—	○

○ : 対応する周波数

— : 対応しない周波数

\* : LV-HD420 のネイティブ解像度は 1920 x 1080 です。

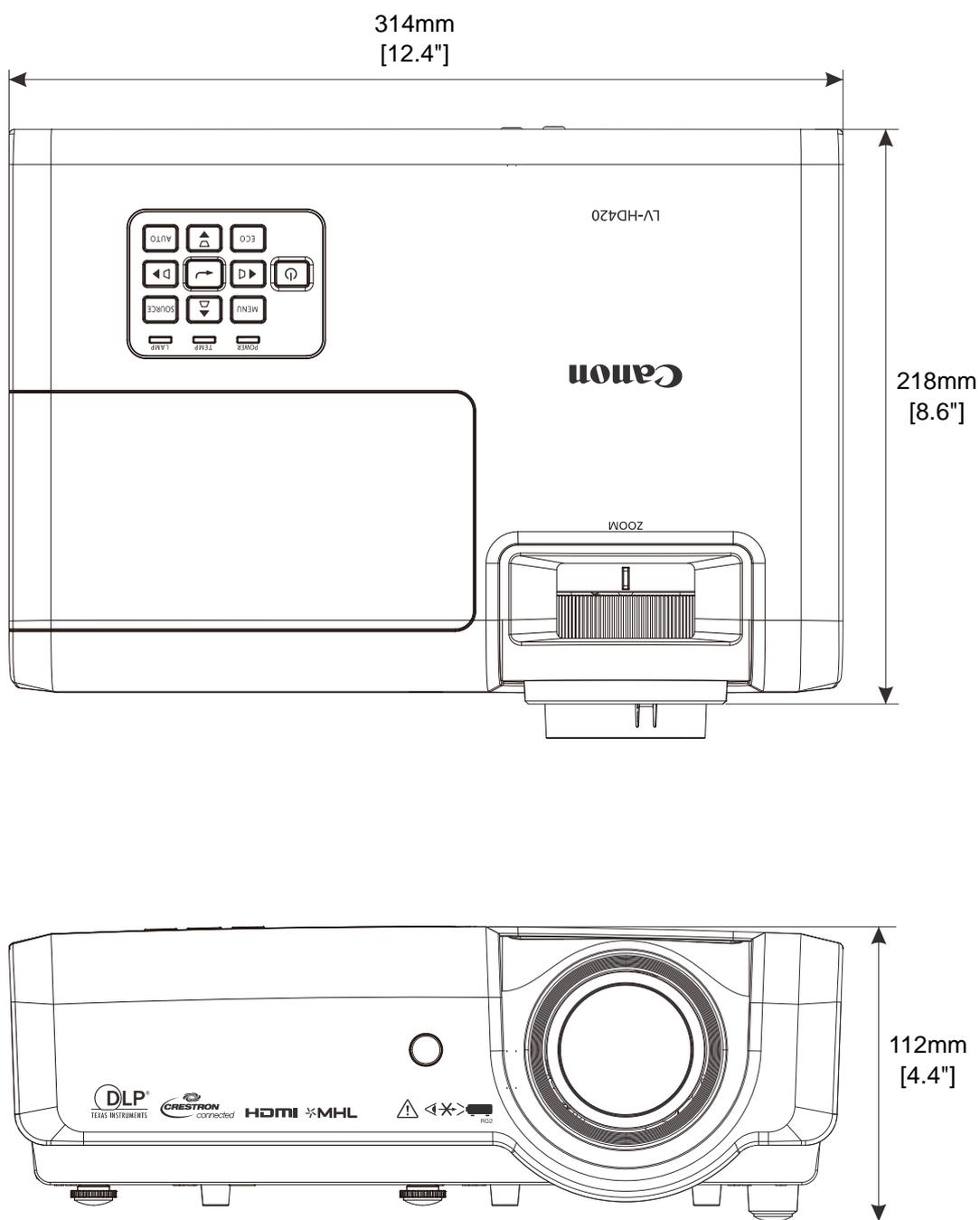
\* : LV-X420 のネイティブ解像度は 1024 x 768 です。

テキストまたはラインのサイズが不規則な場合、ネイティブ解像度以外の解像度が表示されます。

\* : ■ 色は、表示可能です。(4:3のみ)

\* : ■ 色は、ノイズが発生する可能性があります。

## プロジェクターの寸法



## RS-232C プロトコル

## RS-232C 設定

ボーレート	9600
パリティチェック	なし
データビット	8
停止ビット	1
フロー制御	なし

次のコマンドの最小遅延 : 1m sec

## 制御コマンド構造

	ヘッダコード	コマンドコード	データコード	終了コード
16進法		コマンド	データ	0Dh
ASCII	'V'	コマンド	データ	CR

## 動作コマンド

**注記:**

「CR」とはキャリッジリターン意味します  
 XX=00-98、プロジェクターのID、XX=99はすべてのプロジェクター用です  
 結果を返す P=成功/F=失敗  
 n: 0:無効/1:有効/値(0~9999)

コマンドグループ 00				
ASCII	16進法	関数	説明	値を返す
VXXS0001	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 31h 0Dh	Power On		P/F
VXXS0002	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 32h 0Dh	Power Off		P/F
VXXS0003	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 33h 0Dh	Resync		P/F
VXXG0004	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 34h 0Dh	Get Lamp Hours		Pn/F
VXXS0006	56h Xh Xh 53h 30h 30h 30h 36h 0Dh	System Reset		P/F
VXXG0007	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 37h 0Dh	Get System Status	0:Reset 1:Standby 2:Operation 3:Cooling	Pn/F
VXXG0008	56h Xh Xh 47h 30h 30h 30h 38h 0Dh	Get F/W Version		Pn/F

コマンドグループ 01

ASCII	16 進法	関数	説明	値を返す
VXXG0101	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 31h 0Dh	Get Brightness	n=0~100	Pn/F
VXXS0101n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 31h nh 0Dh	Set Brightness	n=0~100	P/F
VXXG0102	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 32h 0Dh	Get Contrast	n=0~100	Pn/F
VXXS0102n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 32h nh 0Dh	Set Contrast	n=0~100	P/F
VXXG0103	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 33h 0Dh	Get Color	n=0~100	Pn/F
VXXS0103n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 33h nh 0Dh	Set Color	n=0~100	P/F
VXXG0104	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 34h 0Dh	Get Tint	n=0~100	Pn/F
VXXS0104n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 34h nh 0Dh	Set Tint	n=0~100	P/F
VXXG0105	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 35h 0Dh	Get Sharpness	0~31	Pn/F
VXXS0105n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 35h nh 0Dh	Set Sharpness	0~31	P/F
VXXG0106	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 36h 0Dh	Get Color Temperature	0:6500K 1:7500K 2:8300K	Pn/F
VXXS0106n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 36h nh 0Dh	Set Color Temperature	0:6500K 1:7500K 2:8300K	P/F
VXXG0107	56h Xh Xh 47h 30h 31h 30h 37h 0Dh	Get Gamma	0:1.8 1:2.0 2:2.2 3:2.4 5:Linear	Pn/F
VXXS0107n	56h Xh Xh 53h 30h 31h 30h 37h nh 0Dh	Set Gamma	0:1.8 1:2.0 2:2.2 3:2.4 5:Linear	P/F
VXXG0108	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 38h 0Dh	Adjust the Picture mode	0:Standard 1:Presentation 3:Movie 5:sRGB 7:User	Pn/F
VXXS0108n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 38h nh 0Dh	Adjust the Picture mode	0:Standard 1:Presentation 3:Movie 5:sRGB 7:User	P/F

コマンドグループ 02				
ASCII	16 進法	関数	説明	値を返す
VXXS0201	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 31h 0Dh	Select OMPUTER1		P/F
VXXS0202	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 32h 0Dh	Select OMPUTER2		P/F
VXXS0204	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 34h 0Dh	Select Video		P/F
VXXS0205	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 35h 0Dh	Select S-Video		P/F
VXXS0206	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 36h 0Dh	Select HDMI		P/F
VXXS0208	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 38h 0Dh	Select Component		P/F
VXXS0209	56h Xh Xh 53h 30h 32h 30h 39h 0Dh	Select HDMI 2		P/F
VXXG0220	56h Xh Xh 47h 30h 32h 32h 30h 0Dh	Get Current Source	Return 1:COMPUTER1 2:COMPUTER2 4:Video 5:S-Video 6:HDMI 8:Component 9:HDMI 2	Pn/F

コマンドグループ 03				
ASCII	16 進法	関数	説明	値を返す
VXXG0301	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 31h 0Dh	Get Scaling	0:Fill 1:4:3 2:16:9 3:Letter Box 4:Native 5:2.35:1	Pn/F
VXXS0301n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 31h nh 0Dh	Set Scaling	0:Fill 1:4:3 2:16:9 3:Letter Box 4:Native 5:2.35:1	P/F
VXXG0302	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 32h 0Dh	Get Blank		Pn/F
VXXS0302n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 32h nh 0Dh	Set Blank		P/F
VXXG0304	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 34h 0Dh	Get Freeze On		Pn/F
VXXS0304n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 34h nh 0Dh	Set Freeze On		P/F
VXXG0305	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 35h 0Dh	Get Volume	n=0~10	Pn/F
VXXS0305n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 35h nh 0Dh	Set Volume	n=0~10	P/F
VXXG0308	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 38h 0Dh	Get Projection Mode	0:Front 1:Rear 2:Ceiling 3:Rear+Ceiling	Pn/F
VXXS0308n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 38h nh 0Dh	Set Projection Mode	0:Front 1:Rear 2:Ceiling 3:Rear+Ceiling	P/F

コマンドグループ 03

ASCII	16 進法	関数	説明	値を返す
VXXG0309	56h Xh Xh 47h 30h 33h 30h 39h 0Dh	Get vertical keystone value	n=-30~+30	Pn/F
VXXS0309n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 30h 39h nh 0Dh	Set vertical keystone value	n=-30~+30	P/F
VXXG0310	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 30h 0Dh	Get horizontal keystone value	n=-30~+30	Pn/F
VXXS0310n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 30h nh 0Dh	Set horizontal keystone value	n=-30~+30	P/F
VXXG0315	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 35h 0Dh	Get 3D Mode	n=0~2	Pn/F
VXXS0315n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 35h nh 0Dh	Set 3D Mode	0:Off 1:DLP	P/F
VXXG0316	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 36h 0Dh	Get 3D sync inverter	n=0~1	Pn/F
VXXS0316n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 36h nh 0Dh	Set 3D sync inverter	0:Off 1:On	P/F
VXXG0317	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 37h 0Dh	Get 3D format	n=0~3	Pn/F
VXXS0317n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 37h nh 0Dh	Set 3D format	0:FS 1:TB 2:SBS 3:FP	P/F
VXXG0319	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 39h 0Dh	Get Lamp mode	n=0~2	Pn/F
VXXS0319n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 39h nh 0Dh	Set Lamp mode	0:Eco 1:Normal 2:Smart Eco	P/F
VXXG0322	56h Xh Xh 47h 30h 33h 32h 32h 0Dh	Get Fan Speed	n=0~1	Pn/F
VXXS0322n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 32h 32h nh 0Dh	Set Fan Speed	0:Normal 1:High Speed	P/F
VXXG0331	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 31h 0Dh	Get the R gain	n=0~200	Pn/F
VXXS0331n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 31h nh 0Dh	Set the R gain	n=0~200	P/F
VXXG0332	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 32h 0Dh	Get the G gain	n=0~200	Pn/F
VXXS0332n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 32h nh 0Dh	Set the G gain	n=0~200	P/F
VXXG0333	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 33h 0Dh	Get the B gain	n=0~200	Pn/F
VXXS0333n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 33h nh 0Dh	Set the B gain	n=0~200	P/F
VXXG0334	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 37h 0Dh	Get the R offset	n=-100~100	Pn/F
VXXS0334n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 37h nh 0Dh	Set the R offset	n=-100~100	P/F
VXXG0335	56h Xh Xh 47h 30h 33h 31h 39h 0Dh	Get the G offset	n=-100~100	Pn/F
VXXS0335n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 31h 39h nh 0Dh	Set the G offset	n=-100~100	P/F
VXXG0336	56h Xh Xh 47h 30h 33h 32h 32h 0Dh	Get the B offset	n=-100~100	Pn/F
VXXS0336n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 32h 32h nh 0Dh	Set the B offset	n=-100~100	P/F
VXXG0337	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 37h 0Dh	Get the white R gain	n=0~100	Pn/F
VXXS0337n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 37h nh 0Dh	Set the white R gain	n=0~100	P/F
VXXG0338	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 38h 0Dh	Get the white G gain	n=0~200	Pn/F
VXXS0338n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 38h nh 0Dh	Set the white G gain	n=0~200	P/F

コマンドグループ 03

ASCII	16 進法	関数	説明	値を返す
VXXG0339	56h Xh Xh 47h 30h 33h 33h 39h 0Dh	Get the white B gain	n=0~200	Pn/F
VXXS0339n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 33h 39h nh 0Dh	Set the white B gain	n=0~200	P/F
VXXG0340	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 30h 0Dh	Get the Red Hue	n=-100~100	Pn/F
VXXS0340n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 30h nh 0Dh	Set the Red Hue	n=-100~100	P/F
VXXG0341	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 31h 0Dh	Get the Red Saturation	n=-100~100	Pn/F
VXXS0341n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 31h nh 0Dh	Set the Red Saturation	n=-100~100	P/F
VXXG0342	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 32h 0Dh	Get the Red Gain	n=-100~100	Pn/F
VXXS0342n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 32h nh 0Dh	Set the Red Gain	n=-100~100	P/F
VXXG0343	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 33h 0Dh	Get the Green Hue	n=-100~100	Pn/F
VXXS0343n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 33h nh 0Dh	Set the Green Hue	n=-100~100	P/F
VXXG0344	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 34h 0Dh	Get the Green Saturation	n=-100~100	Pn/F
VXXS0344n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 34h nh 0Dh	Set the Green Saturation	n=-100~100	P/F
VXXG0345	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 35h 0Dh	Get the Green Gain	n=-100~100	Pn/F
VXXS0345n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 35h nh 0Dh	Set the Green Gain	n=-100~100	P/F
VXXG0346	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 36h 0Dh	Get the Blue Hue	n=-100~100	Pn/F
VXXS0346n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 36h nh 0Dh	Set the Blue Hue	n=-100~100	P/F
VXXG0347	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 37h 0Dh	Get the Blue Saturation	n=-100~100	Pn/F
VXXS0347n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 37h nh 0Dh	Set the Blue Saturation	n=-100~100	P/F
VXXG0348	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 38h 0Dh	Get the Blue Gain	n=-100~100	Pn/F
VXXS0348n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 38h nh 0Dh	Set the Blue Gain	n=-100~100	P/F
VXXG0349	56h Xh Xh 53h 30h 33h 34h 39h 0Dh	Get the Cyan Hue	n=-100~100	Pn/F
VXXS0349n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 34h 39h nh 0Dh	Set the Cyan Hue	n=-100~100	P/F
VXXG0350	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 30h 0Dh	Get the Cyan Saturation	n=-100~100	Pn/F
VXXS0350n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 30h nh 0Dh	Set the Cyan Saturation	n=-100~100	P/F
VXXG0351	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 31h 0Dh	Get the Cyan Gain	n=-100~100	Pn/F
VXXS0351n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 31h nh 0Dh	Set the Cyan Gain	n=-100~100	P/F
VXXG0352	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 32h 0Dh	Get the Magenta Hue	n=-100~100	Pn/F
VXXS0352n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 32h nh 0Dh	Set the Magenta Hue	n=-100~100	P/F
VXXG0353	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 33h 0Dh	Get the Magenta Saturation	n=-100~100	Pn/F
VXXS0353n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 33h nh 0Dh	Set the Magenta Saturation	n=-100~100	P/F
VXXG0354	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 34h 0Dh	Get the Magenta Gain	n=-100~100	Pn/F
VXXS0354n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 34h nh 0Dh	Set the Magenta Gain	n=-100~100	P/F

**コマンドグループ 03**

ASCII	16 進法	関数	説明	値を返す
VXXG0355	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 35h 0Dh	Get the Yellow Hue	n=-100~100	Pn/F
VXXS0355n	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 35h nh 0Dh	Set the Yellow Hue	n=-100~100	P/F
VXXG0356	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 36h 0Dh	Get the Yellow Saturation	n=-100~100	Pn/F
VXXS0356n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 36h nh 0Dh	Set the Yellow Saturation	n=-100~100	P/F
VXXG0357	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 37h 0Dh	Get the Yellow Gain	n=-100~100	Pn/F
VXXS0357n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 37h nh 0Dh	Set the Yellow Gain	n=-100~100	P/F
VXXG0358	56h Xh Xh 47h 30h 33h 35h 38h 0Dh	Get IR On/Off Status	n=0~3	Pn/F
VXXS0358n	56h Xh Xh 53h 30h 33h 35h 38h nh 0Dh	Set IR On/Off Status	0:Both on 1:Front on 2:Back on 3:Both off	P/F

## 保証とアフターサービス

### ■ この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については保証書に記載しております。

### ■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

### ■ 修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」(67 ページ) にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

### ■ 修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

#### 〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

### ■ 修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

### ■ 補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●長年ご使用のプロジェクトターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような  
症状は  
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用  
中止

故障や事故防止のため、  
スイッチを切り、コンセ  
ントから電源プラグをは  
ずして、必ず販売店にご  
相談ください。

#### お客様メモ

品 番

お買い上げ年月日

年 月 日

お買い上げ店名

☎

# Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

0570-08-0071

[受付時間] 〈平日〉9：00～17：00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、03-6634-4487 をご利用ください。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。